

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく  
天塩川下流の減災に関する取組のフォローアップ

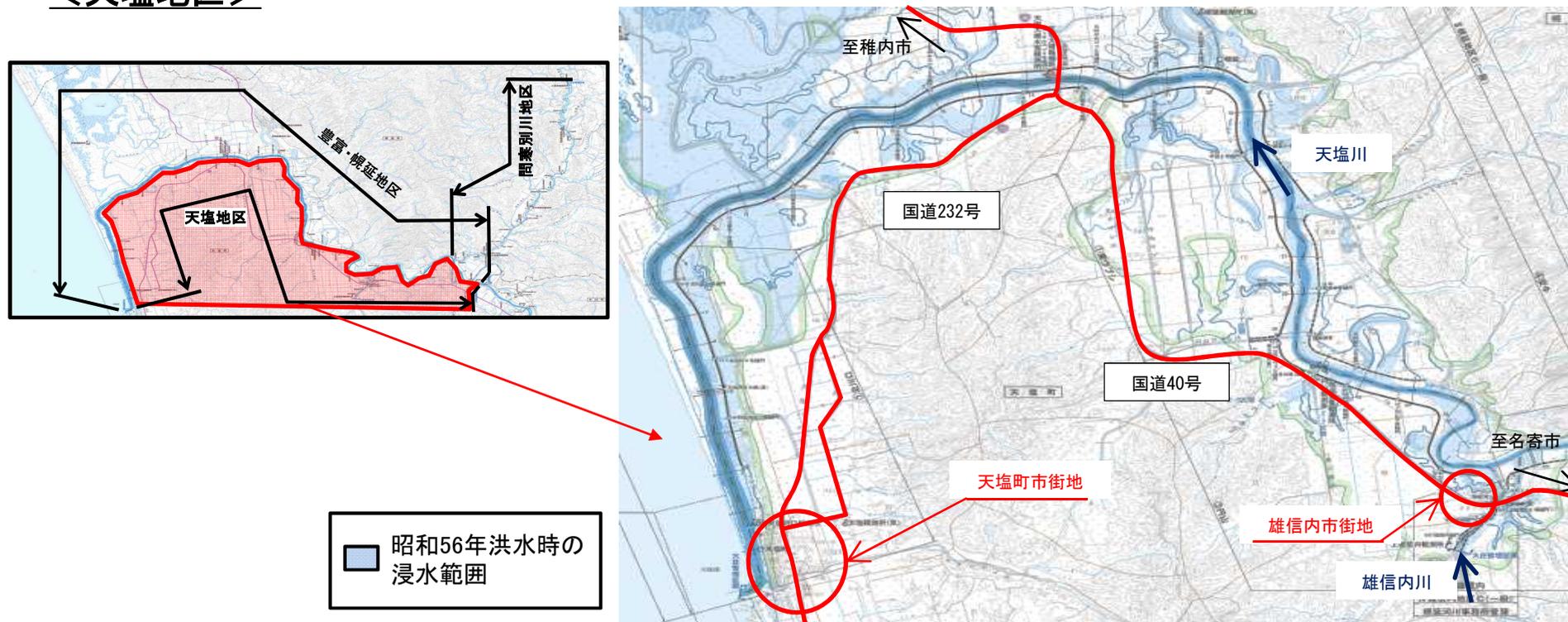
平成30年6月

天塩川下流減災対策協議会

# 1. 天塩川下流の概要<天塩地区(天塩川左岸側)>

- ① 日本海側を通り札幌市への交通ルートとなる国道232号が天塩川と並走している。
- ② 名寄市を經由して旭川市、札幌市への交通ルートとなる国道40号が並走している。
- ③ 天塩川の河口付近には天塩町市街地が形成されている。
- ④ 天塩川と雄信内川の合流点には雄信内市街地が形成されている。

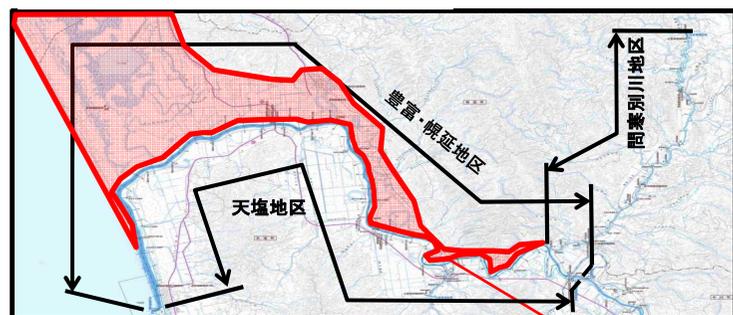
## <天塩地区>



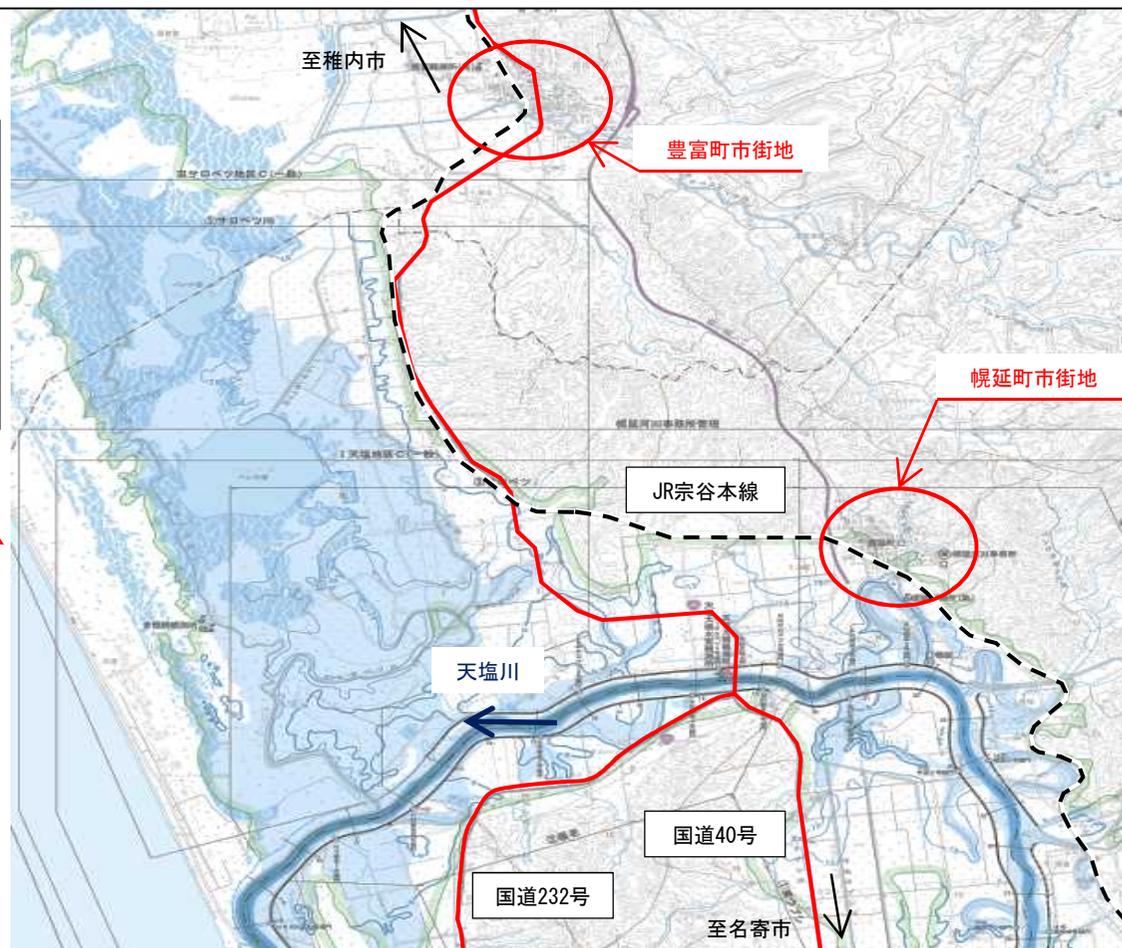
# 1. 天塩川下流の概要<豊富・幌延地区(天塩川右岸側)>

- ① 名寄市を經由して旭川市、札幌市への交通ルートとなる国道40号、JR宗谷本線がサロベツ川と並走している。
- ② サロベツ原野を流下することから浸水が広範囲に及ぶ。
- ③ 天塩川右岸には幌延町市街地が形成されている。
- ④ サロベツ川左岸には豊富町市街地が形成されている。

## <豊富・幌延地区>



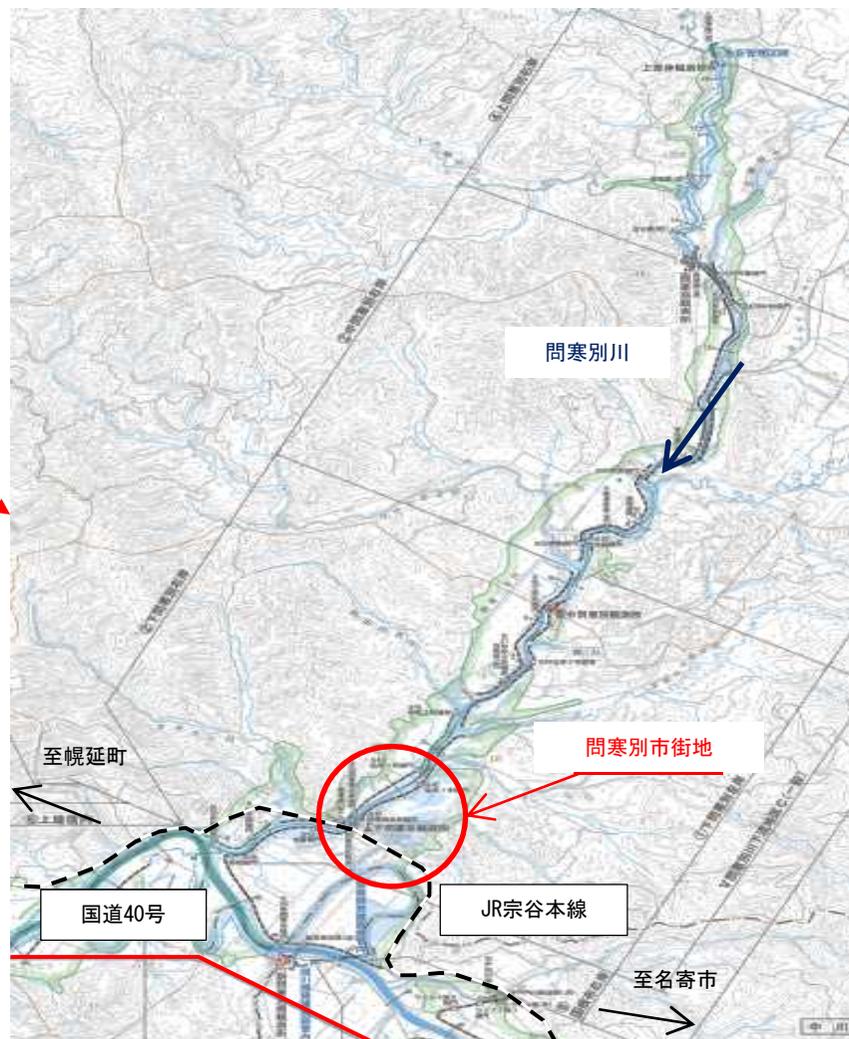
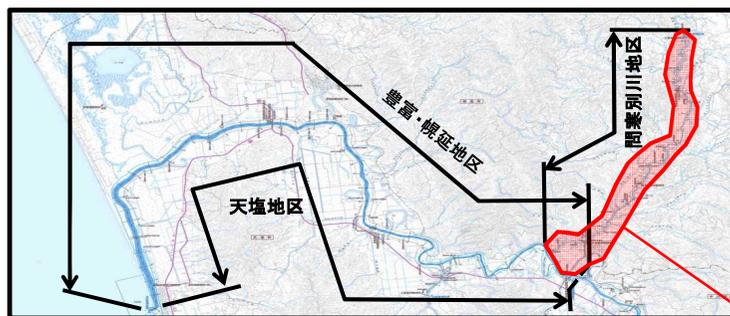
■ 昭和56年洪水時の浸水範囲



# 1. 天塩川下流の概要<問寒別川地区>

- ① 名寄市を經由して旭川市、札幌市への交通ルートとなるJR宗谷本線が横断している。
- ② 問寒別川下流域には問寒別市街地が形成されている。

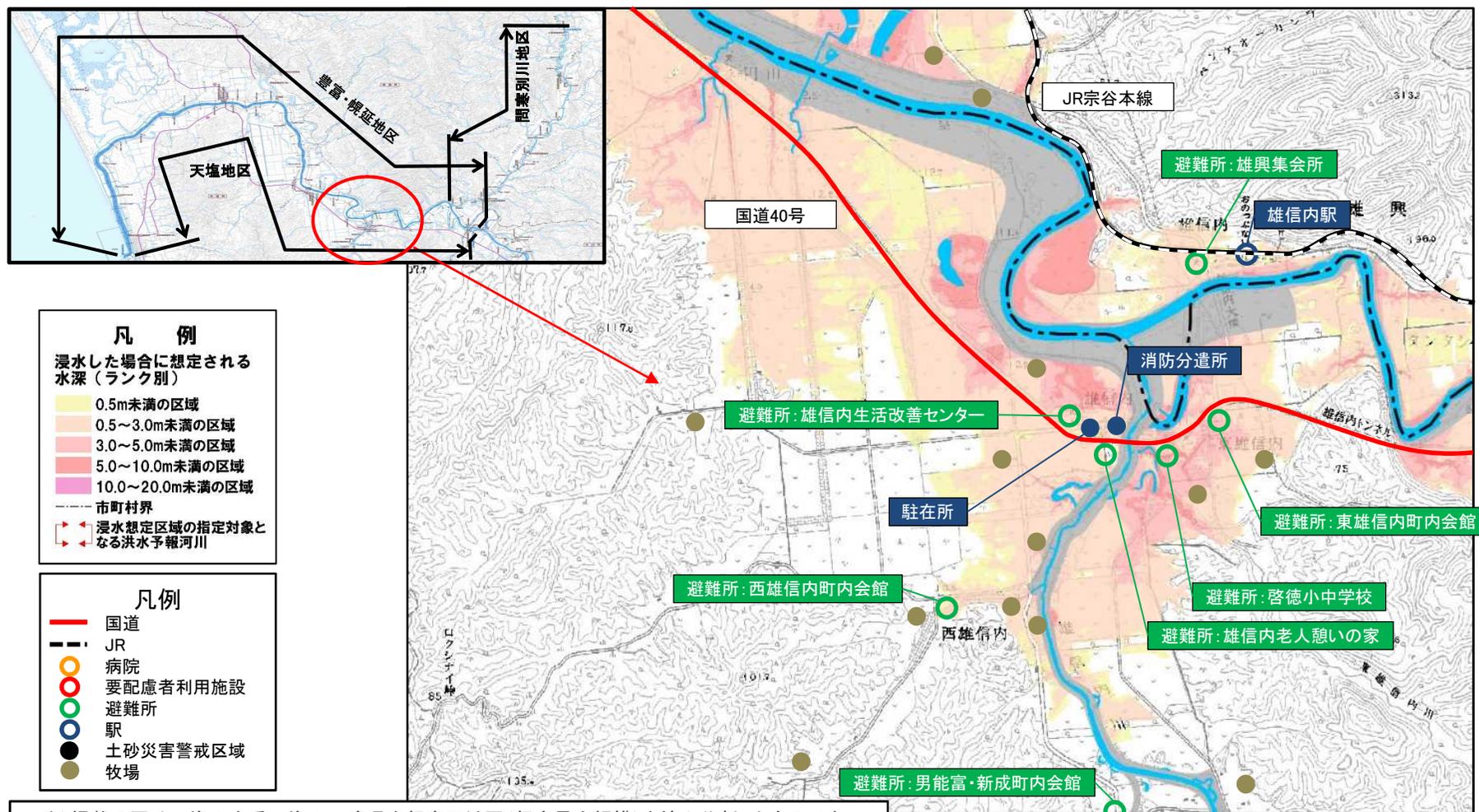
## <問寒別川地区>



■ 昭和56年洪水時の浸水範囲

## 2. 天塩川下流の主な課題<天塩地区(天塩川左岸側)>

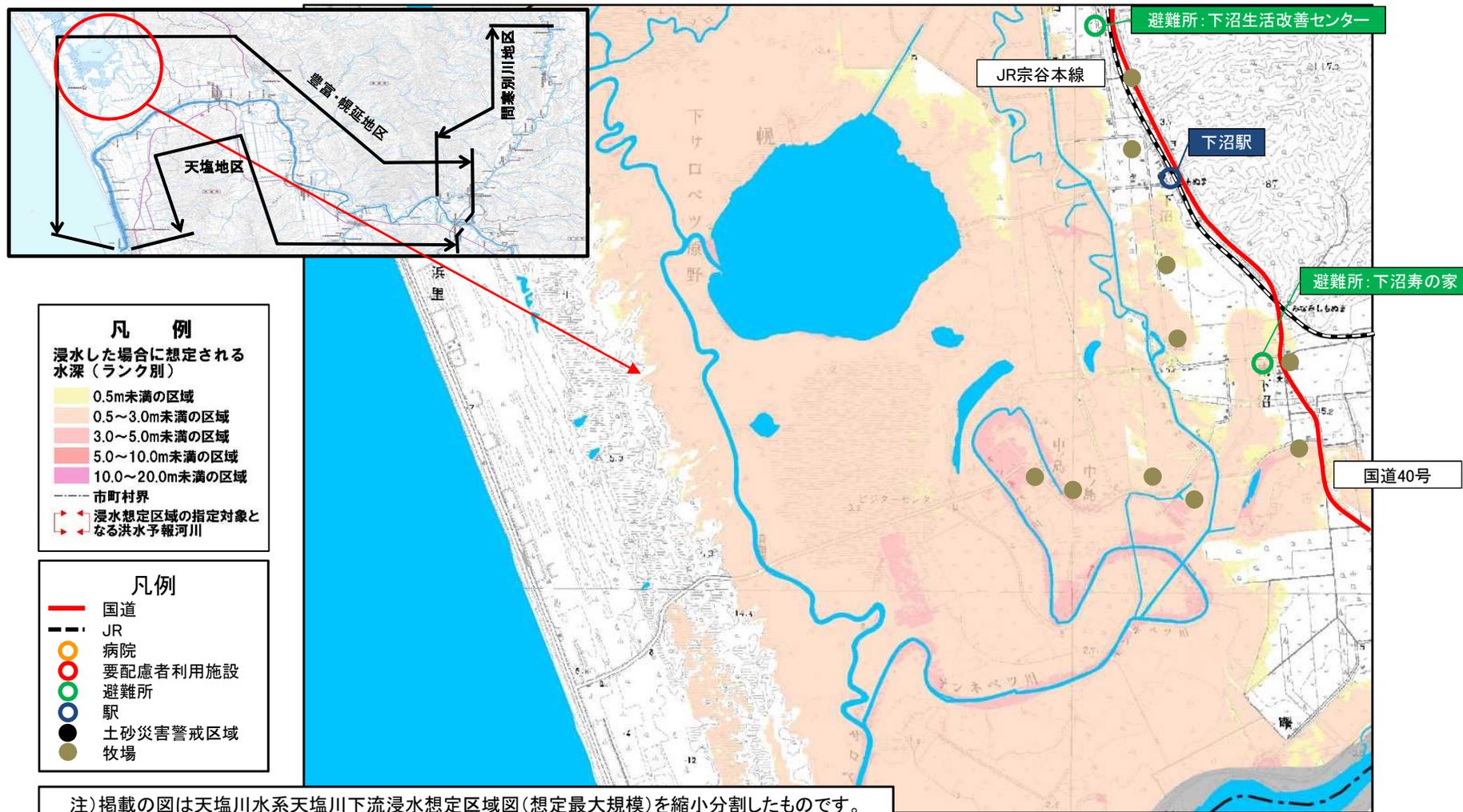
低平地では、住宅のみならず、複数の避難所等への浸水が想定され、かつ、国道40号をはじめとする避難経路が途絶するおそれがある。また、広域に分散する酪農施設への浸水が想定されるため、確実な避難情報の伝達と適切な避難経路・避難場所の設定が重要となる。



注) 掲載の図は天塩川水系天塩川下流浸水想定区域図(想定最大規模)を縮小分割したものです。

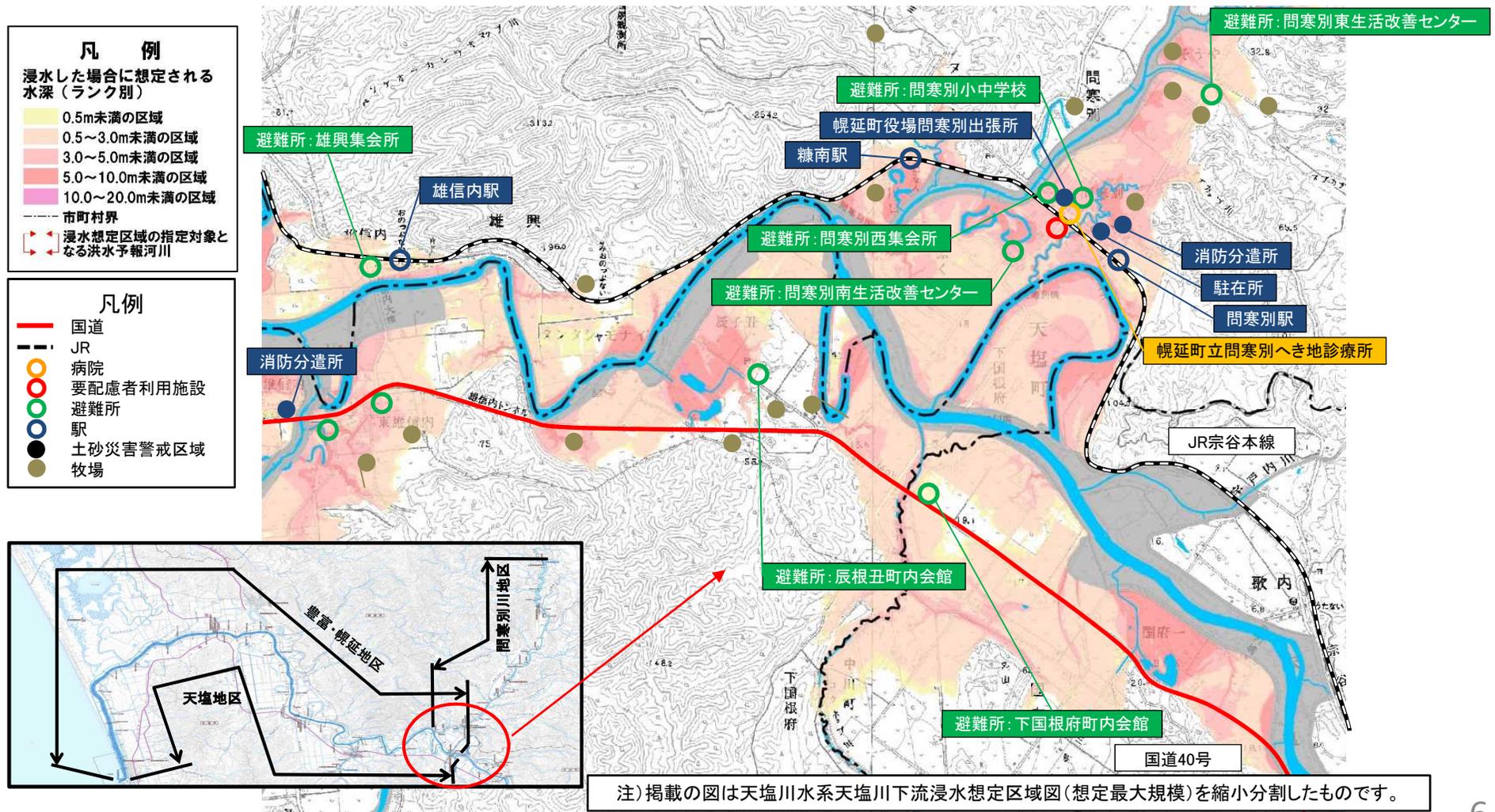
## 2. 天塩川下流の主な課題<豊富・幌延地区(天塩川右岸側)>

サロベツ原野が位置する低平地では、複数の避難所や町道等への浸水が想定され、避難経路が途絶するおそれがある。また広域に分散する酪農施設への浸水が想定されるため、確実な避難情報の伝達と適切な避難経路・避難場所の設定及び町・道路管理者との連携による今後整備予定の水防活動の拠点等の検討が重要となる。



## 2. 天塩川下流の主な課題<問寒別川地区>

問寒別市街地が位置する低平地では、住宅のみならず、複数の避難所や町道、要配慮者利用施設及び病院等への浸水が想定され、避難経路が途絶するおそれがある。また、広域に分散する酪農施設への浸水が想定されるため、確実な避難情報の伝達と適切な避難経路・避難場所の設定が重要となる。



### 3. 現状の取組状況

#### ①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難勧告等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導體制』

#### 現状

- ・ 避難勧告の発令の目安となる氾濫危険情報の発表等の洪水予報を気象台と共同で実施している。
- ・ 重大災害の発生のおそれがある場合には、留萌開建、北海道から天塩町長、豊富町長、幌延町長に対して情報伝達をしている。
- ・ 河川情報については、インターネット等を活用して入手している。
- ・ 被災情報や避難勧告などの情報については、振興局及び町役場の災対本部等より入手している。

■天塩川下流洪水予報区間



#### 課題

A

- ・ 洪水予報等の防災情報が受け手側にとってわかりにくいこともあり、防災情報の持つ意味や、防災情報を受けた場合の対応について住民等の認識が不十分であることが懸念される。

# 3. 現状の取組状況

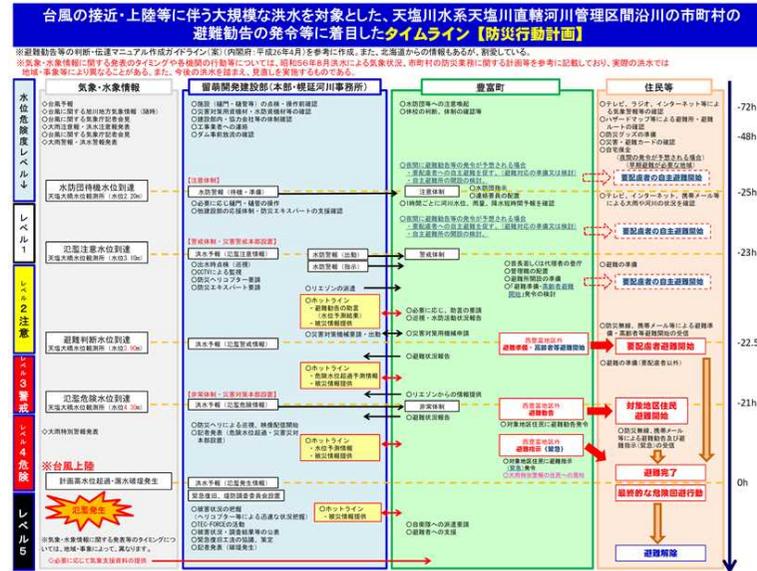
## ①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング』、『**避難勧告等の発令基準**』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導體制』

現状

- ・避難勧告等の発令に着目したタイムラインを作成している。
- ・避難勧告等の発令に関する内容を地域防災計画に記載し、その内容に基づき発令している。

天塩町の避難勧告等の発令に着目したタイムライン



課題

B

- ・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの運用実績が現時点では無いことから、訓練を通じた精度向上と合わせて、円滑な運用を可能とするために、各地域における避難勧告等の発令タイミングや、避難情報の伝達方法を予め整理することが求められる。

C

- ・現行の地域防災計画には、水位に対応した避難勧告等の発令基準や、発令対象地区が明確に記載されておらず、広域に分散する住民等への情報伝達の手法等が不十分であることが懸念される。

### 3. 現状の取組状況

#### ①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難勧告等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導體制』

現状

- ・ 防災マップ及びHPにおいて避難場所・一時避難所を周知している。
- ・ 平成28年7月公表の浸水想定区域図に基づきハザードマップの見直しを行っている。



まるごとまちごとハザードマップ設置状況



幌延町農業協同組合間寒別支所

課題

D

・ 浸水想定区域図等に記載された浸水深等の情報がリスクとして住民に理解されず、情報を受けた場合でも適切な行動に結びつかないことが懸念される。

E

・ 避難経路を指定していないため、いざという時に避難路が浸水しているなど、適切に行動できないことが懸念される。

F

・ 酪農施設等による広域分散型の土地利用が形成されている箇所では、浸水深の深い区域において避難が困難になることが懸念される。

G

・ 長時間・広範囲の国道・道道の浸水により、住民の避難や災害拠点病院への搬送等が困難となることが懸念される。

### 3. 現状の取組状況

#### ①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難勧告等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導體制』

#### 現状

- ・ 河川水位、洪水予報等の情報をHPやテレビを通じて伝達している。
- ・ 避難に関する情報や避難の際の注意情報を、防災無線、広報車、農協のFAX・エリアメール等により情報伝達をしている。
- ・ 消防計画や地域防災計画等に基づき、避難勧告又は避難指示の住民への情報伝達を支援している。
- ・ 避難誘導は、地域防災計画において町職員、消防団等が実施するよう設定されている。

#### 課題

H

- ・ 高気密性住宅が多いことに加え、風雨等の騒音等により、音声による情報の聞き取りが困難となることが懸念される。

I

- ・ 文字・水位情報ではわかりにくく、伝えたい情報が正しく伝わっていないことが懸念される。住民が広範囲に分散することや高齢化等から、伝えたい情報が一部の住民に確実に伝わっていないことが懸念される。（天塩町、豊富町、幌延町の高齢化率は3割）

J

- ・ 地域防災計画には、町職員、消防団等が適切かつ迅速に避難誘導を行うこととされており、迅速な活動のためにより連携が求められる。

### 3. 現状の取組状況

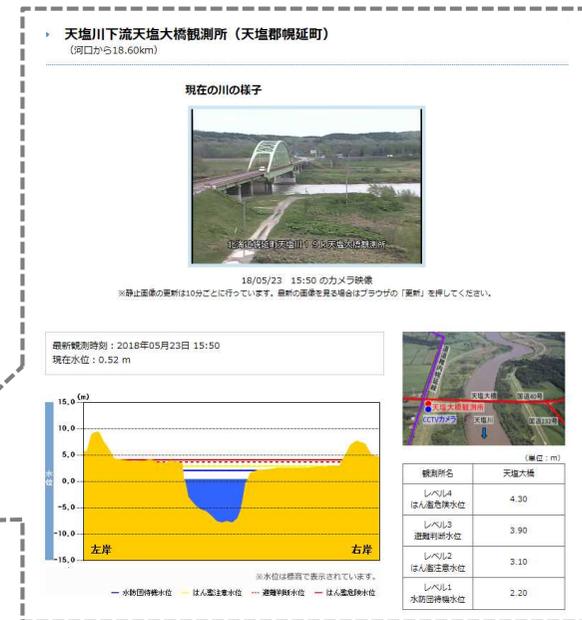
#### ②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

#### 現状

- ・ 河川水位、洪水予報、ライブ映像等の情報をHPやテレビを通じて伝達している。
- ・ 基準観測所の水位に応じて水防警報を発表している。

国土交通省北海道開発局  
河川リアルタイム情報



#### 課題

K

- ・ 河川水位、洪水予報、水防警報、重要水防箇所等の情報をどのように活用すべきなのか、個々の水防団員への周知が不十分である。

### 3. 現状の取組状況

#### ②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

#### 現状

- ・ 平常時に水防活動の効率化を図るため、住民、関係機関と水害リスクの高い箇所での合同巡視を実施し、出水時には水防団等と河川管理者がそれぞれ河川巡視を実施している。
- ・ 地域防災計画に基づき、出水時には水害の危険性の高い地域への巡視を実施。
- ・ 水防資機材は各関係機関で、事務所・水防拠点等に保有している。



#### 課題

L

- ・ 住民を含む合同巡視が対象地区全てでは実施されておらず、リスク情報の周知が充分とはいえない。

M

- ・ 各関係機関の水防資機材保有状況を共有し、充実を図る必要がある。

### 3. 現状の取組状況

#### ②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

#### 現状

- ・ 消防事務組合、建設協会等の関係機関と連携を図っている。
- ・ 関係機関と連携した水防活動の実施訓練を行っている。



#### 課題

N

- ・ 水防活動に関する専門的な知識等を習得する機会が少ないこと、水防団員が減少傾向であることから、作業を的確にできないことが懸念される。

### 3. 現状の取組状況

#### ③ 氾濫水の排水、施設運用等に関する事項

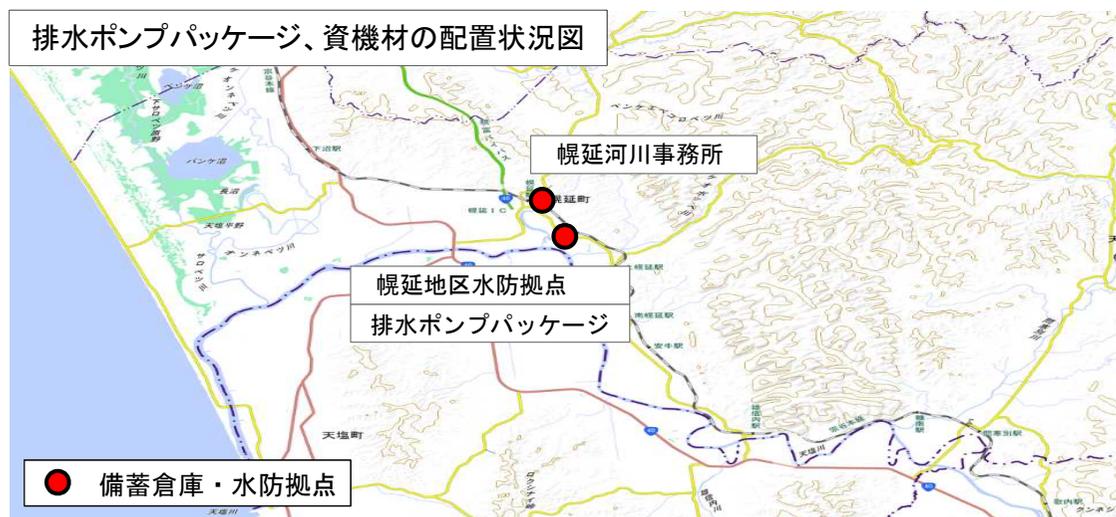
『排水施設、排水資機材の操作、運用』

#### 現状

- ・ 関係機関が連携した排水訓練を実施している。
- ・ 保有する水防資機材は非常時においては水防団等への貸し出しが可能である。



関係機関と連携した排水訓練



#### 課題

O

- ・ 大規模浸水時に早期に排水を行うため、既存の排水施設、排水系統を把握し、関係機関の連携による排水計画を検討する必要がある。

P

- ・ 広域的な資機材等の保有状況や、非常時における支援要請手順について、情報の共有が不十分である。

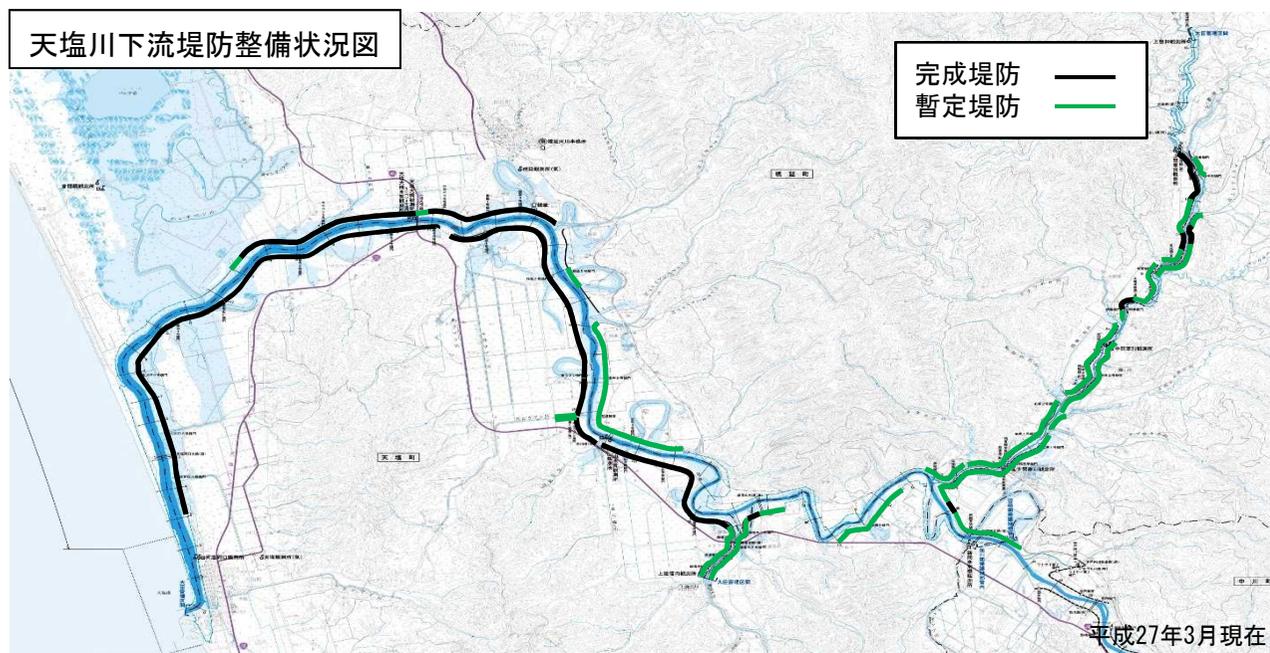
### 3. 現状の取組状況

#### ④河川管理施設の整備に関する事項

##### 『堤防等河川管理施設の現状の整備状況及び今後の整備内容』

現状

- ・ 計画断面に満たない堤防に対し、早期に嵩上げを実施するため、民家等が集中する地区から優先的に堤防整備を推進している。
- ・ 危機管理型ハード対策として、堤防天端の保護、堤防裏法尻の補強を実施している。



課題

Q

- ・ 無堤地区や計画断面に対して高さや幅が不足している堤防があり、洪水により氾濫する恐れがある。
- ・ 洪水の越水や河岸の浸食により、堤防が決壊するおそれがある。

## 4. 減災のための目標

### ■ 5年間で達成すべき目標

天塩川下流の大規模水害に対し

「**確実な避難を目指す**」、「**長時間続く洪水から地域を守る**」

### ■ 上記目標達成に向けた2つの取組

天塩川下流において、水災害防止を目的として河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策に加え、下記の取組を実施。

1. 広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた**確実な避難に関する取組**
2. 長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための**水防活動・復旧に関する取組**

# 5. 概ね5年で実施する取組

## 1) ハード対策の主な取組

■洪水氾濫を未然に防ぐ対策 ■危機管理型ハード対策 ■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

## 2) ソフト対策の主な取組

### ① 広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

#### ■情報伝達、避難計画等に関する事項

- ・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図・洪水氾濫危険区域図に基づき、避難経路途絶前の避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを行い、地域防災計画及びハザードマップへ反映
- ・町・道路管理者との連携により避難経路や今後整備予定の水防活動の拠点等を検討
- ・タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上
- ・各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容についての役場職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し
- ・農協等と連携して、広域に分散する酪農施設、災害時要配慮者利用施設における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進
- ・分かりやすい洪水予報伝文への改良
- ・気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善

#### ■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

- ・想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
- ・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知
- ・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるとまちごとハザードマップの作成と周知
- ・小学生を中心とした天塩川下流の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施
- ・関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を踏まえた訓練の実施
- ・防災無線やホームページ等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実

### ② 長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

#### ■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

- ・毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施
- ・関係機関が連携した長時間、広範囲に及ぶ浸水を想定した水防訓練を継続実施
- ・迅速な水防活動を支援するため、長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害の状況を踏まえた、水防資機材が不足する地域に新たな保管場所を検討の上、充実に図る。
- ・的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員数の確保を図る
- ・自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認

#### ■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項

- ・浸水想定区域内の拠点施設(病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進

#### ■氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み

- ・想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成
- ・訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認

## 6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

### ■ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

課題対応: **Q**

○堤防整備等(雄信内地区等)【引き続き実施: 留萌開発建設部、北海道】

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	○堤防整備等の実施	—	○河川整備計画の策定のための協議
平成29年度 実施内容	—	—	○事業に着手
平成30年度 実施予定	○継続実施	—	○継続実施

### 堤防整備



# 6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

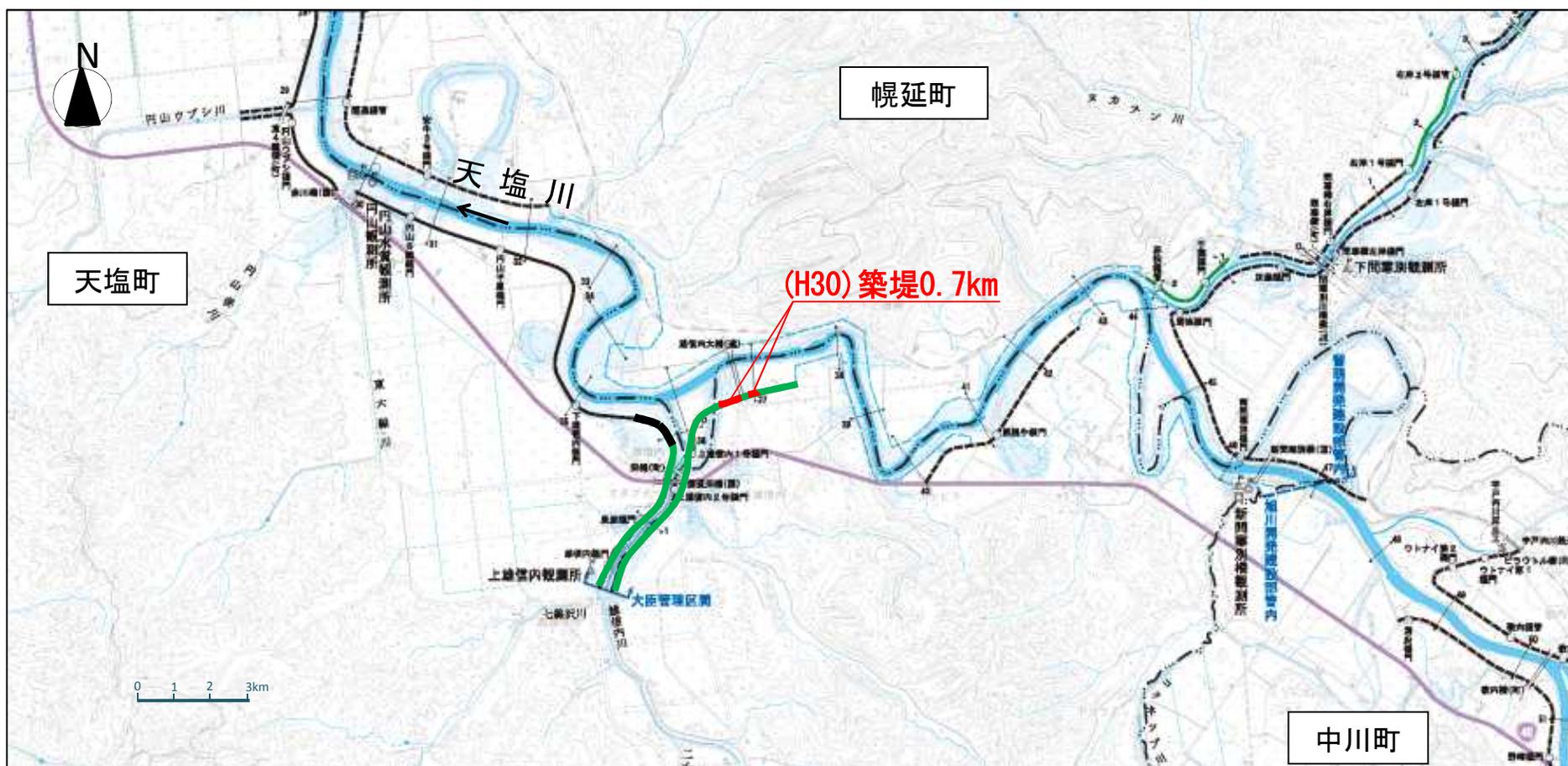
## ■ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

課題対応: **Q**

	全体延長	H28まで	H29実施	H30予定	H31以降予定
雄信内地区 堤防整備	5.8km	0.4km	-	0.7km	4.7km

凡例

<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:black;"></span>	H28まで
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:yellow;"></span>	H29実施
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:red;"></span>	H30予定
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:green;"></span>	H31以降予定



## 6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

### ■ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

課題対応: **Q**



北海道

### 平成29年に実施した取組内容～堤防整備等(留萌振興局)

#### 堤防整備（既設樋門の改築）を実施

- ・ 天塩川支流の雄信内川において、H22.7月降雨に伴う内水氾濫の実績から、断面が不足する斉藤樋門の改築工事を実施。
- ・ H30保護護岸工などを施工し完成する予定。



## 6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

### ■ 危機管理型ハード対策

課題対応: Q

○ 氾濫リスクが高いにも関わらず、当面の間、上下流バランスの観点から堤防整備に至らない区間などについて、平成32年度を目途に決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう、堤防構造を工夫する対策を実施。

【～平成32年度: 留萌開発建設部】

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	○天端保護を実施	—	—
平成29年度 実施内容	○継続実施	—	—
平成30年度 実施予定	○継続実施	—	—

### 堤防天端の保護



# 6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

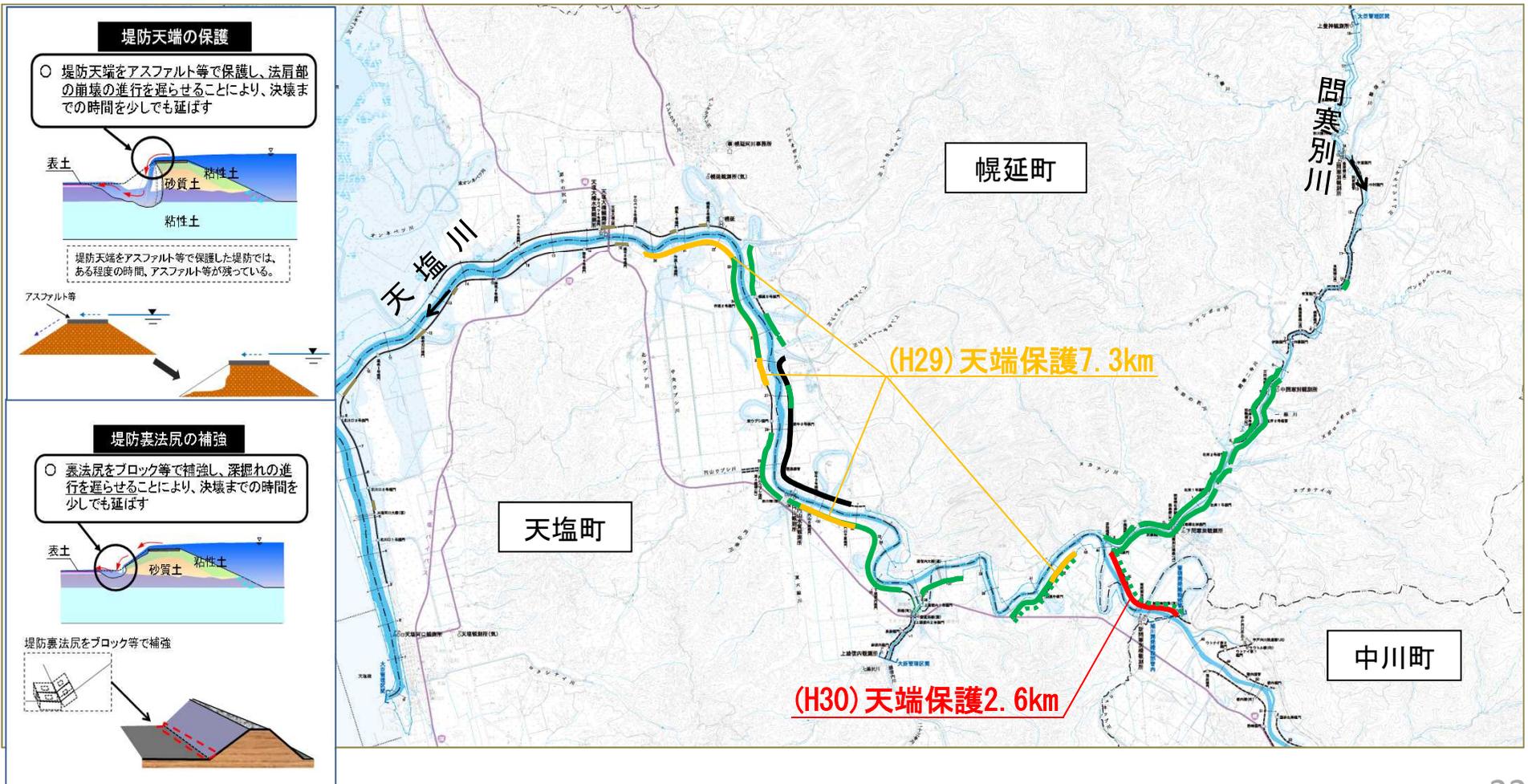
## ■ 危機管理型ハード対策

課題対応: **Q**

	全体延長	H28まで	H29実施	H30予定	H31以降予定
天端保護	45.7km	5.2km	7.3km	2.6km	30.6km
法尻補強	5.0km	-	-	-	5.0km

凡例

天端保護	法尻補強	
■ (黒)	■ (黒)	H28まで
■ (黄)	■ (黄)	H29実施
■ (赤)	■ (赤)	H30予定
■ (緑)	■ (緑)	H31以降予定



## 6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

### ■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

課題対応:

H

I

- 住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築【平成28年度から実施:留萌開発建設部】
- 洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築【平成29年度から実施:留萌開発建設部】
- 高齢者等に配慮し、防災ラジオなど様々な情報伝達手段の整備を検討し、現在行っている情報伝達手段と合わせて運用することにより、充実を図る。【平成28年度から実施:天塩町、豊富町、幌延町】
- 危機管理型水位計の整備【平成30年度から実施:留萌開発建設部、北海道】

### ○水防拠点の整備(幌延地区)【～32年度:留萌開発建設部】

課題対応:

M

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	○スマートフォン版「川の防災情報」の供用を開始	—	—
平成29年度 実施内容	○洪水情報のプッシュ型配信を開始 ○危機管理型水位計の検討 ○水防拠点の検討	—	○危機管理型水位計の検討
平成30年度 実施予定	○危機管理型水位計の整備 ○水防拠点の整備	—	○危機管理型水位計の整備

	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	—	○情報伝達手段の整備方針について検討準備	○情報伝達手段の整備方針について検討準備
平成29年度 実施内容	○wifi網の整備による各避難施設を拠点とした防災情報の伝達手段検討	○既存の防災行政無線の外部スピーカーの音量調整など改善を行い、情報伝達手段の改善取組を実施	○防災情報伝達の冗長化に向けたIP告知端末機と防災無線の連携、登録制メールの検討
平成30年度 実施予定	○wifi網の整備による各避難施設を拠点とした防災情報の伝達手段の確保・整備	○継続実施	○IP告知端末機、防災無線の更新、登録制メールの導入



# 6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

課題対応:



## 危機管理型水位計の概要



### 【目的】

洪水時の水位観測に特化した低コストな水位計を開発することで、これまで水位計の無かった河川や地先レベルでのきめ細やかな水位把握が必要な河川への水位計の普及を促進し、水位観測網の充実を図る。

### 【特徴】

- 長期間メンテナンスフリー（無給電で5年以上稼働）
- 省スペース(小型化)（橋梁等へ容易に設置が可能）
- 初期コストの低減  
（洪水時のみの水位観測により、機器の小型化や電池及び通信機器等の技術開発によるコスト低減）  
（水位計本体費用は、100万円/台以下）
- 維持管理コストの低減  
（洪水時のみに特化した水位観測によりデータ量を低減し、IoT技術とあわせ通信コストを縮減）

### 開発された水位計の例

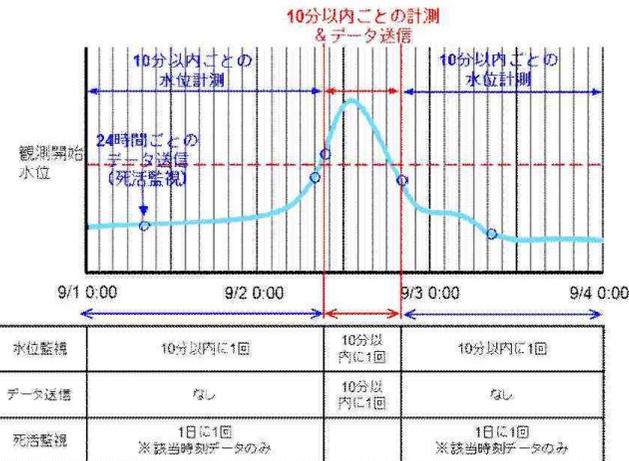
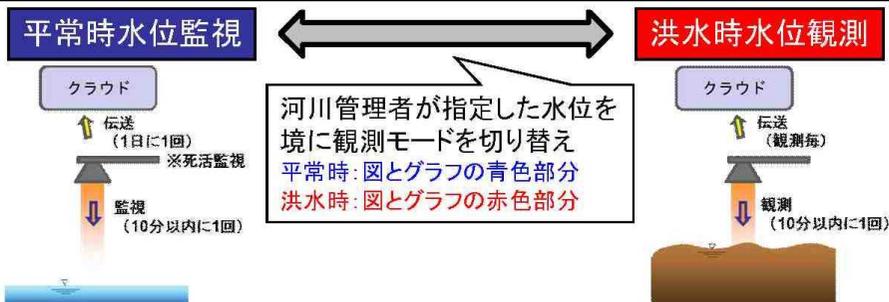


堤防に設置するタイプ  
(ケーブル(計測器)を河川に入れて計測)

橋梁に設置するタイプ  
(電波や超音波で河川に触れずに計測)

### 【水位観測方法】

一定の水位を超過した時に観測モードを切り替え、10分以内毎に水位データを送信。水位データはクラウドで閲覧可能。



## 6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

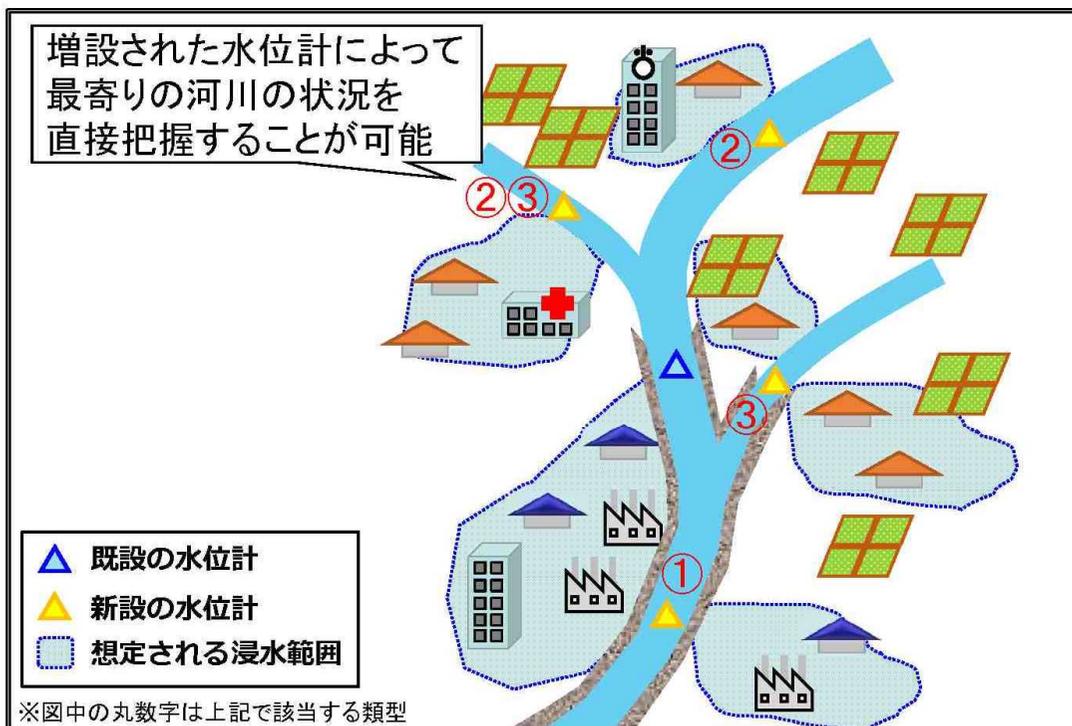
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

課題対応: **H** **I**

### 国管理河川における危機管理型水位計の配置箇所の考え方 国土交通省

これまでは各水位計が長い区間を受け持ち、観測所地点の水位から各地点の水位を推定していたが、集落や氾濫ブロック単位で「氾濫の危険度がどの程度切迫しているのか」を直接的には把握できていなかった。今回は、  
①「堤防高さや川幅などから、相対的に氾濫が発生しやすい箇所」  
②「氾濫により行政施設・病院等の重要施設が浸水する可能性が高い箇所」  
③「支川合流部など、既設水位計だけでは実際の水位が捉えにくい箇所」などを対象として抽出し、既設水位計の配置や現地状況等を踏まえて、危機管理型水位計の配置箇所を選定。国管理河川においては、平成30年度中に水位計の設置を進めることとしている。

※【氾濫ブロック】一連の浸水区域のうち、河川や山などの地形及び構造物等により区分されるひとまとまりの氾濫区域のこと。



## 6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

課題対応: **H** **I**



北海道

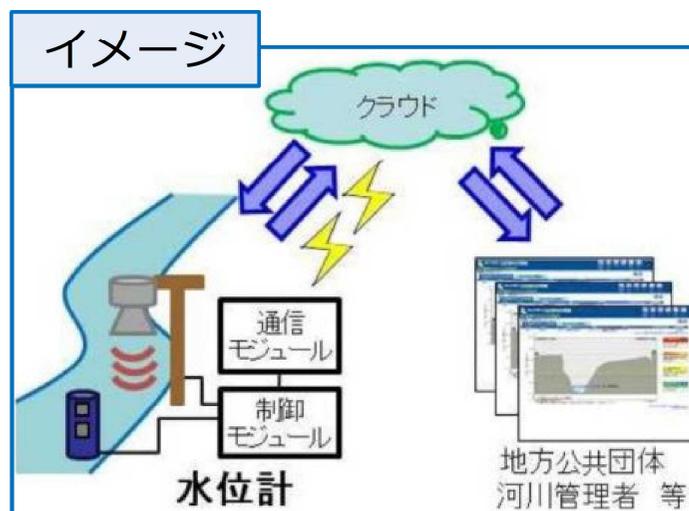
平成29年に実施した取組内容～危機管理型水位計の整備～  
(留萌振興局・宗谷総合振興局)

### 危機管理型水位計の配置計画の策定

- 水位把握の必要性が高い中小河川において、洪水時の避難判断の目安となる、リアルタイムでの水位状況の把握を目的に、洪水時に特化した低コストな水位計の配置計画を策定。
- 設置場所など、具体については、各市町村等と打ち合わせを予定。
- 平成32年度までに水位計の整備を完了する。
  - 平成29年度～設置箇所（案）策定
  - 平成30年度～各市町村と設置箇所等の打ち合わせ
  - 平成30～32年度 水位計設置

### 天塩川水系の設置予定箇所

天塩町～ロクシナイ川、北ウブシ川、二十三号川  
豊富町～清明川、福永川  
幌延町～ペンケウブシ川、ケナシポロ川  
※設置河川は、重要施設の浸水や洪水実績などから抽出。



## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: **D E F G**

○想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図・洪水氾濫区域図に基づき、避難経路途絶前の避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを実施し、地域防災計画及びハザードマップへ反映  
【平成29年度から順次実施:天塩町、豊富町、幌延町】

○町・道路管理者との連携により避難経路や今後整備予定の水防活動の拠点等を検討  
【平成28年度から実施:留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	○想定最大規模降雨（L2）による浸水想定区域図等を公表 ○避難経路、水防拠点について検討準備	—	—
平成29年度 実施内容	○想定最大規模の洪水に対する排水計画案について検討	—	—
平成30年度 実施予定	○継続実施	—	—

	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	—	—	○防災計画の全面改定
平成29年度 実施内容	○地域防災計画・ハザードマップの見直し・修正策定	○見直し内容等検討中	○想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づく、防災マップの更新
平成30年度 実施予定	○新想定に基づく地域防災計画・ハザードマップの住民周知及び町としての体制見直し	○継続実施	○水防法改正に対応した地域防災計画の見直し

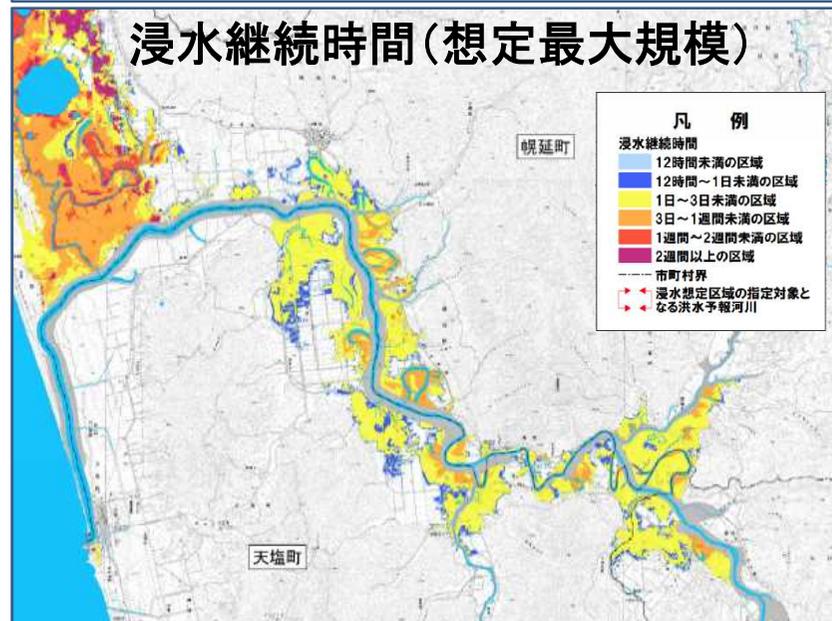
	消防	道警	自衛隊	J R
平成29年度 実施内容	—	○随時、担当者が各関係機関防災担当者を訪問するなどして情報共有を行い、連絡体制を維持している	—	—
平成30年度 実施予定	—	○引き続き、市町村防災担当者との情報共有や連絡体制の確立を図る	—	—

## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応:

**D E F G**



幌延町 ハザードマップを改定

天塩町、豊富町 地域防災計画及びハザードマップの改定準備



## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応:

**D E F G**

### 平成29年に実施した取組内容（天塩町）

～想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成～



- 天塩川が大雨により増水し、町内周辺堤防が決壊した場合の浸水予想結果に基づき、浸水する範囲とその程度並びに各地区の避難場所を示した地図。
- 降雨規模は、想定し得る最大を想定。
- 水害の恐れがある場合には、町からの非難勧告により速やかに各避難場所へ避難する。
- 日頃より浸水が発生する場所を把握し、いざというときに早めに自主避難するための参考とするために作成。

## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応:

B

C

D

E

F

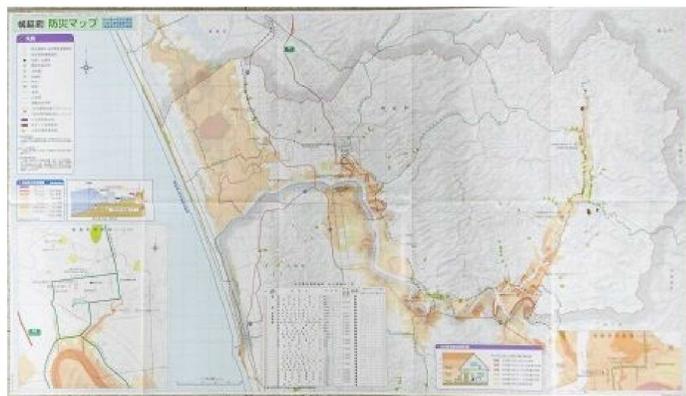
G

## 平成29年に実施した取組内容(幌延町)

### 防災ハザードマップ・避難行動マニュアルの配付

想定最大規模に基づく洪水浸水想定区域や津波浸水想定区域を記載したハザードマップを作成と、住民が平時や避難時に参考となる事項を記載した避難行動マニュアルを両面に印刷した防災マップを作成し、全戸へ配付。

また、災害対策本部で使用するため、ホワイトボード仕様のハザードマップも併せて作成した。



### 職員初動マニュアル等の検討・作成

地震や異常気象時の初動段階から事態安定期における職員の的確な初動対応を遂行できるよう、初動マニュアルを検討・作成するとともに、避難勧告等発令基準や伝達方法、避難所運営マニュアルについても併記した。



## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応:

B

C

J

- タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上 【平成29年度から実施:留萌開発建設部、地方气象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】
- 各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法及び伝達内容についての役場職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し  
【平成28年度から順次実施:天塩町、豊富町、幌延町】

	留萌開発建設部	地方气象台	北海道
平成28年度 実施内容	○平成28年7月12日、北海道災害対策留萌地方本部指揮室設営訓練に参加 ○平成28年10月18日～19日、天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修に参加	○平成28年7月12日、北海道災害対策留萌地方本部指揮室設営訓練に参加 ○平成28年10月18日～19日、天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修に参加	○平成28年7月12日、北海道災害対策留萌地方本部指揮室設営訓練を実施
平成29年度 実施内容	○平成29年5月8日、洪水予警報等作成システムによる対向演習を実施 ○平成29年5月12日、天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練を実施 ○平成29年8月8日、天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修に参加	○平成29年5月8日、洪水予警報等作成システムによる対向演習を実施 ○平成29年5月12日、天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練を実施 ○平成29年8月8日、天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修に参加	○平成29年5月12日、天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練を実施
平成30年度 実施予定	○洪水予警報等作成システムによる対向演習を実施 ○情報伝達訓練の実施	○洪水予警報等作成システムによる対向演習を実施 ○情報伝達訓練の実施	○情報伝達訓練の実施

## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: **B** **C** **J**

- タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上 【平成29年度から実施:留萌開発建設部、地方気象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】
- 各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法及び伝達内容についての役場職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し  
【平成28年度から順次実施:天塩町、豊富町、幌延町】

	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	○平成28年10月18日～19日、天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修に参加 ○マニュアル等の改訂内容について検討準備	○平成28年10月18日～19日、天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修に参加 ○マニュアル等の改訂内容について検討準備	○平成28年10月18日～19日、天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修に参加 ○マニュアル等の改訂内容について検討準備 ○防災計画の全面改定
平成29年度 実施内容	○平成29年5月12日、天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練に参加 ○平成29年8月8日、天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修に参加	○平成29年5月12日、天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練に参加 ○平成29年8月8日、天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修に参加 ○見直し内容等検討中	○平成29年5月12日、天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練に参加 ○平成29年8月8日、天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修に参加 ○職員初動マニュアルの検討
平成30年度 実施予定	○情報伝達訓練の実施	○情報伝達訓練の実施 ○継続実施	○情報伝達訓練の実施 ○メール、電話による職員招集システムの構築

	消防	道警	自衛隊	J R
平成29年度 実施内容	—	○自治体主催の防災訓練等に参加	—	—
平成30年度 実施予定	—	○継続実施	—	—

## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: **B**

- 天塩町、豊富町、幌延町、北海道及び国等からなる「天塩川下流減災対策協議会」で検討された減災に関する取り組み方針に基づき、関係機関の職員を対象とした防災研修を実施しました。
- 大規模水害に対する地域防災力向上に資するべく、天塩川流域市町村(2市8町1村)及び、関係機関の防災担当者を対象とした豪雨災害対策研修を天塩川治水促進期成会と連携し開催しました。
- 参加された方から、「高齢者等の住民避難は、なるべく早い段階での行動が重要」との感想がありました。

#### 天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修 概要

**目的:** 平成28年8月に北海道では観測史上初となる1週間に3つの台風上陸や、その後の台風10号の影響により、道内各地で甚大な被害が発生しており、天塩川でも氾濫危険水位を超える出水や浸水被害が発生するなど、大規模洪水への備えの重要性を再認識すべき状況となりました。  
このような大規模水害に対する地域防災力向上に資するべく、本研修を行うものです。

**実施日:** 平成29年8月8日～9日

**実施場所:** 名寄市 グランドホテル藤花  
(北海道名寄市西5条南4丁目)

**対象機関:** 自治体(名寄市、土別市、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、中川町、幌延町、天塩町、豊富町、音威子府村)

関係機関(旭川開発建設部、留萌開発建設部、旭川地方气象台、北海道上川総合振興局、北海道警察旭川方面本部、陸上自衛隊第2師団)

**参加人数:** 約70人

**訓練内容:** ○豪雨災害時の対応について  
○北海道の防災体制等について  
○防災気象情報に関する基礎知識  
○防災に関する基礎知識  
○河川情報に関する基礎知識  
○危機管理演習(グループワーク)

#### 研修実施状況



加藤名寄市長 開会挨拶



研修実施状況



危機管理演習(グループワーク)



危機管理演習(検討結果発表)

## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: **C E F G**

○農協等と連携して、広域に分散する酪農施設、災害時要配慮者利用施設における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進

【平成28年度から順次実施: 留萌開発建設部、天塩町、豊富町、幌延町、道警、自衛隊】

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	○要配慮者利用施設への説明会の準備 ○台風被害のあった自治体の酪農家の避難の状況や被災後の対応等について聞取調査を実施	○要配慮者利用施設への説明会の準備	○要配慮者利用施設への説明会の準備
平成29年度 実施内容	○関係機関との連携による課題の抽出・対応策の検討 ○管内要配慮者利用施設管理者へ水害・土砂災害対応の説明会を開催	○管内要配慮者利用施設管理者へ水害・土砂災害対応の説明会を開催	○管内要配慮者利用施設管理者へ水害・土砂災害対応の説明会を開催
平成30年度 実施予定	○管内要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援を継続実施	○管内要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援を継続実施	○管内要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援を継続実施

	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	—	○災害発生時に農協等から被害状況や対応状況、課題等の聞取を実施	—
平成29年度 実施内容	○関係機関との連携による課題の抽出・対応策の検討 ○管内要配慮者利用施設管理者へ水害・土砂災害対応の説明会を開催	○関係機関との連携による課題の抽出・対応策の検討 ○管内要配慮者利用施設管理者へ水害・土砂災害対応の説明会を開催	○関係機関との連携による課題の抽出・対応策の検討 ○管内要配慮者利用施設管理者へ水害・土砂災害対応の説明会を開催
平成30年度 実施予定	○関係機関との連携による課題の抽出・対応策の検討	○関係機関との連携による課題の抽出・対応策の検討	○関係機関との連携による課題の抽出・対応策の検討

	消防	道警	自衛隊	J R
平成29年度 実施内容	—	○交番、駐在所勤務員への避難場所・避難経路の周知を実施	—	—
平成30年度 実施予定	—	○各自治体等が主催する防災訓練に参加 ○引き続き、交番、駐在所勤務員への避難場所・避難経路の周知を実施	—	—

## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: **C E F G**

- 平成28年の一連の台風による災害を踏まえ、国土交通省では、厚生労働省及び各自治体と連携し、全国の要配慮者利用施設の管理者に対して、河川・砂防情報等に関する理解を深めていただくための説明会を開催することとしました。
- 留萌開発建設部では、北海道と連携し、留萌市において「**水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会**」を開催しました。
- 洪水や土砂災害リスクの高い区域に存する**要配慮者利用施設については、避難確保計画（非常災害対策計画）の作成や計画に基づく訓練の実施が必要になる**ことを説明しました。

#### 説明会 概要

**目的:** 要配慮者利用施設の管理者に対し、河川・砂防情報等に関する理解を深めていただき、洪水・土砂災害時の被害軽減に努めていただくことを目的として説明会を開催する。

**実施日:** 平成29年5月26日（金）

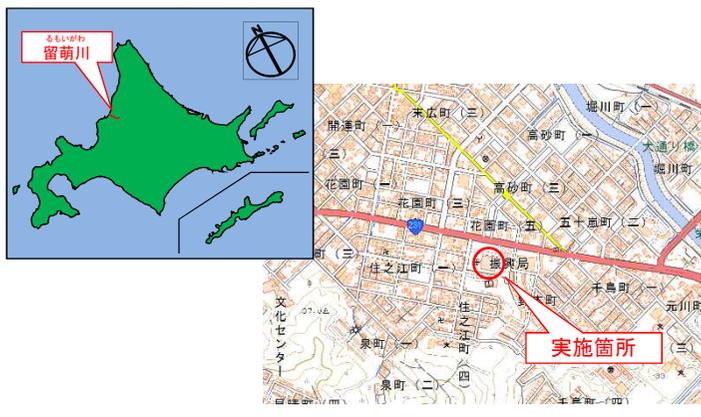
**実施場所:** 北海道留萌合同庁舎 2階講堂  
(留萌市住之江町2丁目1-2)

**主催:** 留萌開発建設部、北海道留萌振興局

**参加機関:** 旭川地方気象台、高齢者福祉施設、医療施設

**参加人数:** 65名

**実施内容:** ①水害・土砂災害への備え～早期の避難による安全の確保をめざして～ ②介護保険施設等における利用者の安全確保及び非常災害時の体制整備の強化・徹底について



#### 説明会 開催状況



説明会 開催状況



浸水想定区域図(想定最大規模)等のパネルを展示



説明会 開催状況

日刊留萌新聞 2017.5.28



出席者が非常災害対策計画に理解を深めた説明会

最後に留萌振興局社会福祉課の職員が、非常災害対策計画の作成について解説し、各施設で実施されている非常災害対策計画に関する項目を追加するだけでも対応可能である旨を説明し、出席者全員を称賛した。(寺本 大輔)

## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応:

A

○分かりやすい洪水予報伝文への改良 【平成28年度:留萌開発建設部、地方気象台】

○気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善 【～平成29年度:地方気象台】

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	○市町村や住民等に対し越水等に関する切迫度が伝わるよう洪水予報文を改良	○市町村や住民等に対し越水等に関する切迫度が伝わるよう洪水予報文を改良 ○気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善の試行を実施	—
平成29年度 実施内容	○H29.4より運用	○H29.4より運用 ○気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示及び大雨による浸水や洪水の危険度分布を気象庁HPで公表	—
平成30年度 実施予定	—	○必要に応じて改良	—

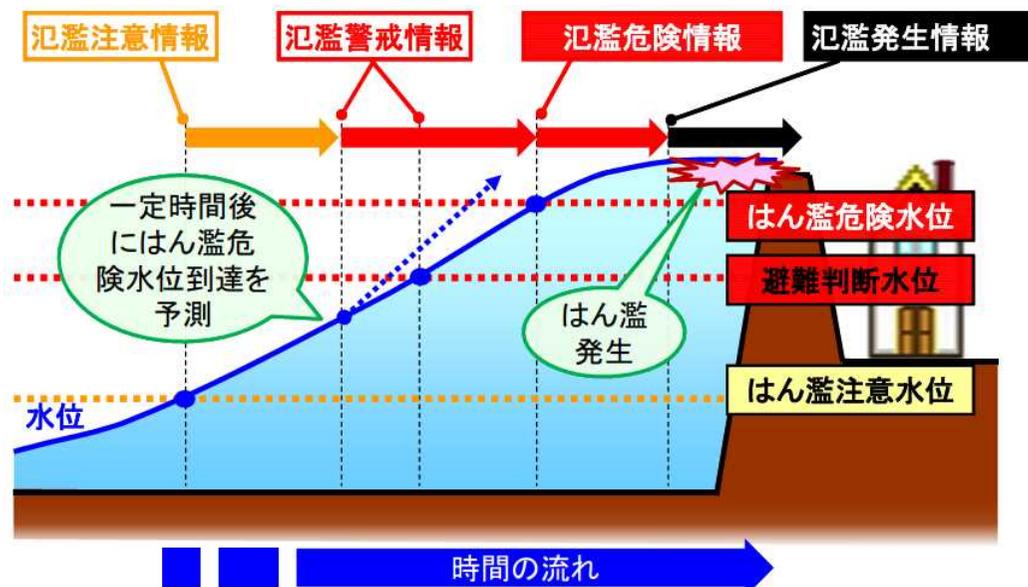
	天塩町	豊富町	幌延町
平成29年度 実施内容	—	—	—
平成30年度 実施予定	—	—	—

## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: **A**

市町村や住民等に対し越水等に関する切迫度が伝わるよう洪水予報文を改良



### 洪水予報文(主文)の改良例

#### 改良前

〇〇川では、はん濫危険水位(レベル4)に達する見込み

〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、約〇時間後には(はん濫危険水位)(レベル4)に達する見込みです。

川沿いの〇〇市、〇〇町のうち、堤防の無い、または堤防の低い箇所などでははん濫のおそれがありますので、市町村からの避難情報に注意して下さい。

#### 改良後

〇〇川では、汎濫危険水位(レベル4)に到達する見込み

〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、〇〇日〇〇時頃に、避難勧告等の発令の目安となる「汎濫危険水位(レベル4)」に到達する見込みです。

〇〇市、〇〇市、〇〇町では、〇〇川の堤防決壊等による汎濫により、浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報に十分注意するとともに、適切な防災行動をとって下さい。

## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: **A**

### 「危険度を色分けした時系列」や「警報級の可能性」の表示改善の試行を実施

平成28年度、交通政策審議会気象分科会の提言による「新たなステージ」に対応した防災気象情報と観測・予測技術のあり方を踏まえて、「危険度を色分けした時系列」や「警報級の可能性」の試行を実施し、平成29年5月17日に気象庁HPで提供を開始した。

#### ○ 危険度を色分けした時系列

平成29年 6月 8日 16時 10分 旭川地方気象台発表

上川・留萌地方の注意警戒事項  
留萌地方では、9日朝まで強風や高波に、9日昼前まで濃霧による視程障害に注意してください。上川、留萌地方では、8日夜遅くまで急な強い雨や落雷に注意してください。

=====  
留萌市 [継続] 強風、波浪、高潮注意報

留萌市 発表中の 警報・注意報等の種別	今後の推移 (■警報級 ■注意報級)										備考・ 関連する現象
	8日					9日					
	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18		
大雨 1時間最大雨量 (ミリ) (暴水害)	10	10	30	30	50	50	50	30	30		
暴風 風向 風速 (米印: メートル)	陸上	15	10	20	22	22	25	10	15	15	
	海	20	22	25	28	28	30	22	20	20	
波浪 波高(メートル)	5	5	8	8	8	9	8	7	7		突風、ひょう
高潮 潮立(メートル)	0.7	0.7	0.8	1.0	1.8	2.0	1.8	1.2	1.2		視程500メートル以下

警報は、警報級の現象が予想される時間帯の最大6時間前に発表します。  
■で着色した種別は、今後警報に切り替える可能性が高い注意報を表しています。  
各要素の予測値は、確度が一定に達したものを表示しています。  
[警報・注意報\(文章形式\)](#)へ

➤ 注意報・警報発表毎に更新

#### ○ 警報級の可能性

平成29年 6月 8日 11時 00分 旭川地方気象台発表

北海道留萌地方の警報級の可能性  
留萌地方では、9日明け方までの期間内に、暴風(暴風雪)警報を発表する可能性がある。

種別	警報級の可能性									
	8日		9日				10日	11日	12日	13日
	夕方まで 12-18	夜～明け方 18-6	朝～夜遅く 6-24							
大雨	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
暴風(暴風雪)	[中]	[中]	-	-	-	-	-	-	-	
波浪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

[高]: 警報を発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況です。明日までの警報級の可能性が[高]とされているときは、危険度が高まる詳細な時間帯を本ページ上段の気象警報・注意報で確認してください。  
[中]: [高]ほど可能性は高くありませんが、命に危険を及ぼすような警報級の現象となりうることを表しています。明日までの警報級の可能性が[中]とされているときは、深夜などの警報発表も想定して心構えを高めてください。

➤ 天気予報(05時、11時、17時)  
週間天気予報(11時、17時)発表毎に更新

参考 [http://www.jma.go.jp/jp/warn/302\\_table.html](http://www.jma.go.jp/jp/warn/302_table.html)

## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: **A**

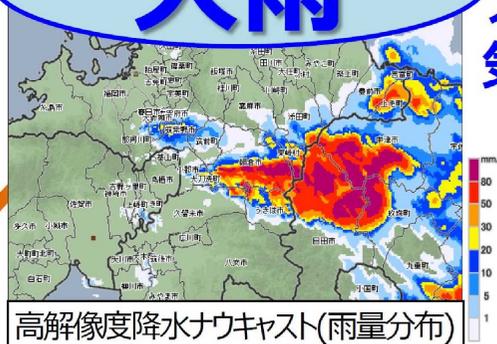
平成29年に実施した取組内容(旭川・稚内地方気象台)

### 雨量分布から災害発生の危険度分布へ

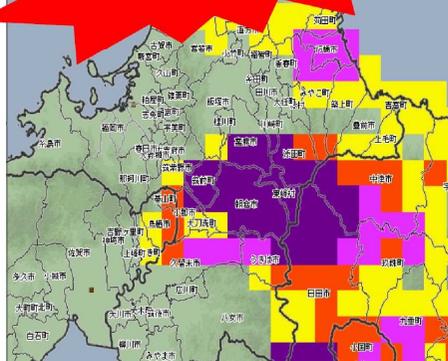
気象庁では、  
警報等と合わせて、どこで  
危険度が高まっているか  
視覚的に確認できるよう  
**危険度分布**も提供。

**大雨**

大雨の降っている場所は  
気象レーダーで把握可能  
(しかし、災害の発生する  
場所・時間とは、  
必ずしも一致しない。)



**土砂災害**



**浸水害**



**洪水害**



## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: **A**

## 平成29年に実施した取組内容(旭川・稚内地方気象台)

### 水位上昇の見込みを判断するための「予測情報」の把握・活用

(内閣府「平成29年7月九州北部豪雨災害を踏まえた避難に関する検討会」資料より)

#### <予測情報の把握>

- 気象庁は、水位上昇の見込みを判断するための情報として、流域雨量指数の予測値（洪水警報の危険度分布）を平成29年7月4日から提供を開始した。

#### 【参考】流域雨量指数の予測値（洪水警報の危険度分布）

##### 流域雨量指数の予測値(防災情報提供システム)

<https://bosai.jmainfo.go.jp/ssoatcag>

河川の上流域における降雨によって、どれだけ下流の対象地点における洪水危険度が高まるかを把握するための情報。**6時間先までの水位上昇の見込みが分かる。**

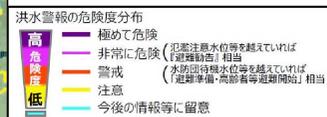
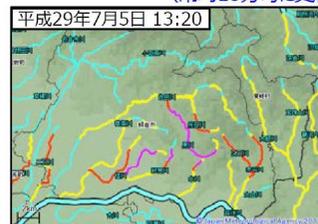
平成29年07月05日13時30分現在

市町村	基準河川	基準			12	13	14	15	16	17	18	19	既往 最大事例
		基準Ⅲ 指数	基準Ⅱ 指数	基準Ⅰ 指数	時 分								
朝倉市	小石原川	18.8	17.1	13.6	4	5.6	7.7	9.2	9.4	9.6	7.9	7.9	17.1 (2012.07.14)
	佐田川	17.7	16.1	12.8	4	9.1	14.5	15.9	13.4	1.3	10.1	9.4	15.5 (2012.07.14)
	桂川	13.6	12.4	9.9	3	7.4	14.7	15.7	10.1	4	7.7	7.2	13.7 (2009.07.25)
	赤谷川	13.2	12.0	9.6	2	9.4	11.1	9.6	8.1	3	6.5	6.0	13.6 (2012.07.03)
	草場川	4.1	3.7	2.9	1	1.0	1.0	1.0	1.0	0	1.0	1.0	3.9 (2010.07.14)

(気象庁防災情報提供システムで提供。一部加工。)

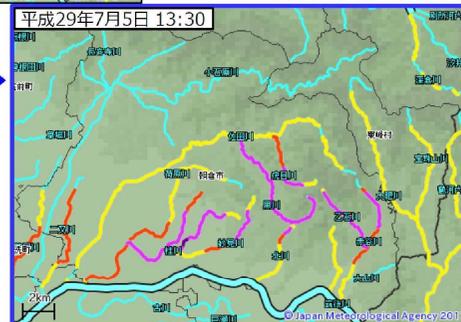
##### 洪水警報の危険度分布

**3時間先までに危険度がどこで高まるか確認できる。**  
(常時10分毎に更新。)



(気象庁ホームページで提供。)

**3時間先までの最大危険度を地図上に表示。**



※ 「避難勧告等に関するガイドライン」では、水位周知河川及びその他河川において、水位情報（水位を観測している場合）や現地情報を活用した上で、水位上昇の見込みを判断するための情報の1つとして流域雨量指数の予測値（洪水警報の危険度分布）を避難勧告等の発令の参考とできる旨記載されている。

##### 「避難勧告等に関するガイドライン」水位上昇の見込みを判断するための情報

確認から	洪水予報河川		水位周知河川		その他河川	
	①	水位予測（指定河川洪水予報）		水位周知河川		その他河川
②	上流の水位（上流地点に水位観測所がある場合）					
③	流域雨量指数の予測値					
	実況雨量や予測雨量（流域平均雨量、代表地点の雨量等）					

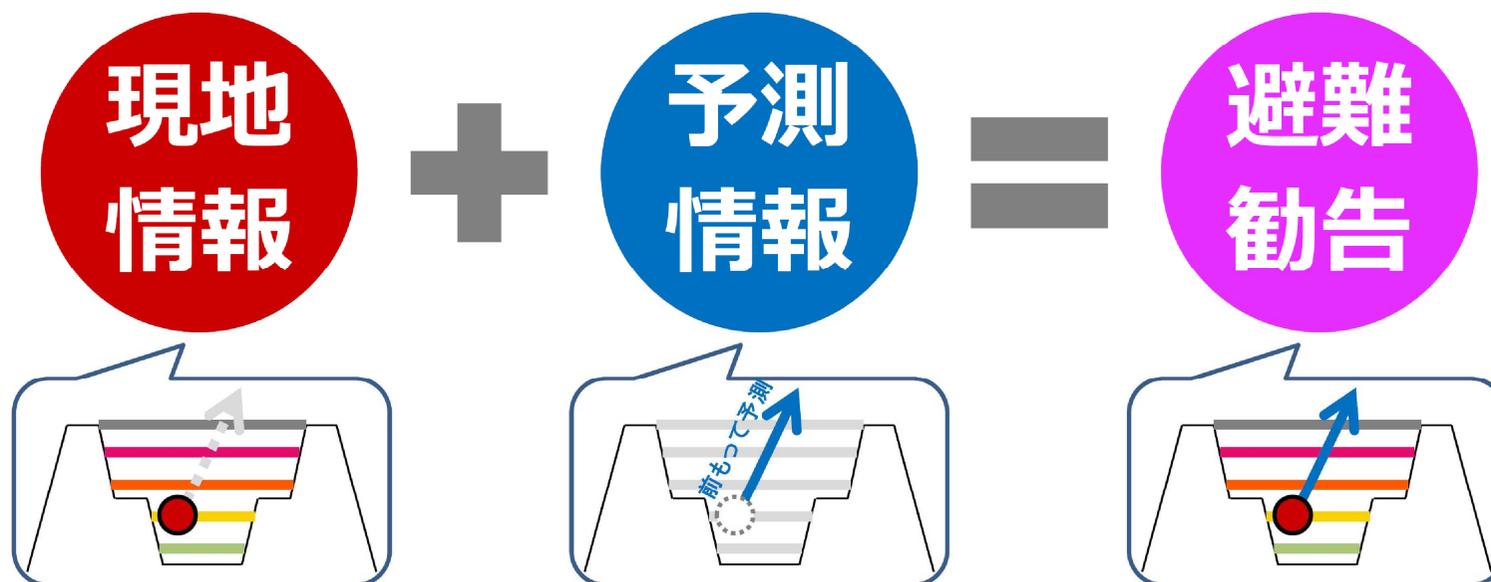
## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: **A**

### 平成29年に実施した取組内容(旭川・稚内地方気象台) 中小河川における避難勧告の判断の考え方

内閣府の「避難勧告等に関するガイドライン」が平成29年1月に改定され、急激な水位上昇が発生する中小河川（水位周知河川・その他河川）における避難勧告等の判断には、水位計や監視カメラ画像から得られる“現地情報”に加え、「流域雨量指数の予測値」（洪水警報の危険度分布）などの水位上昇の見込みが判断できる“予測情報”も合わせて活用するという新たな考え方が追記されました。



## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: **D**

- 想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表  
【平成28年度: 留萌開発建設部、北海道】
- 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知  
【平成29年度から実施: 天塩町、豊富町、幌延町】
- 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるごとまちごとハザードマップの作成と周知  
【平成29年度から実施: 天塩町、豊富町、幌延町】

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	○ 想定最大規模降雨（L2）による浸水 想定区域図等を作成して公表	—	—
平成29年度 実施内容	—	—	—
平成30年度 実施予定	—	—	○ 浸水想定区域図・洪水氾濫危険区域図を作成 し、関係自治体に提供

	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	—	—	○ 防災計画の全面改定
平成29年度 実施内容	○ 平成29年度中に作成	○ 作成内容等検討中	○ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に 基づく、防災マップの作成及び全戸配布 ○ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に 基づく、まるごとまちごとハザードマップの更 新を検討
平成30年度 実施予定	○ 平成30年度以降周知	○ 継続検討	○ 広報誌や町ホームページを活用した住民周知 の継続 ○ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に 基づく、まるごとまちごとハザードマップの更 新を検討

## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: **A** **D** **F** **I**

- 小学生を中心とした天塩川下流の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施  
【平成28年度から実施: 留萌開発建設部、地方気象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】
- 関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を踏まえた訓練の実施  
【平成29年度から実施: 留萌開発建設部、地方気象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】
- 防災無線やHP等を活用した住民の水防災意識啓発のための広報の充実  
【引き続き実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警】

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成28年9月1日、天塩小学校にて防災教育・訓練を実施</li> <li>○新たな浸水想定区域図や水ビジョンに基づく取組状況等をHPにより公表</li> </ul>	-	-
平成29年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災教育を継続実施</li> <li>○H30よりモデル校において、指導要領に基づく防災教育活動を実施するための調整</li> <li>○管内要配慮者利用施設管理者へ水害・土砂災害対応の説明会を開催</li> <li>○平成29年7月28日、水防技術講習会を実施</li> <li>○新たな浸水想定区域図や水ビジョンに基づく取組状況等をHPにより公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管内要配慮者利用施設管理者へ水害・土砂災害対応の説明会を開催</li> <li>○新たな浸水想定区域図や水ビジョンに基づく取組状況等をHPにより公表</li> <li>○平成29年7月11日、管内の教職員を対象とした安全知識の普及啓発を行った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管内要配慮者利用施設管理者へ水害・土砂災害対応の説明会を開催</li> <li>○平成29年7月28日、水防技術講習会に参加</li> </ul>
平成30年度 実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○引き続き、防災教育の継続実施するなど、水防災意識啓発のための活動を実施</li> <li>○管内要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援を継続実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○引き続き、防災教育の継続実施するなど、水防災意識啓発のための活動を実施</li> <li>○管内要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援を継続実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○引き続き、防災教育の継続実施するなど、水防災意識啓発のための活動を実施</li> <li>○管内要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援を継続実施</li> </ul>

## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: **A** **D** **F** **I**

- 小学生を中心とした天塩川下流の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施  
【平成28年度から実施: 留萌開発建設部、地方気象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】
- 関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を踏まえた訓練の実施  
【平成29年度から実施: 留萌開発建設部、地方気象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】
- 防災無線やHP等を活用した住民の水防災意識啓発のための広報の充実  
【引き続き実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警】

	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	○HPや広報誌を通じて防災情報の広報を実施	○豊富小学校等において災害等を想定した避難訓練を実施 ○HPや広報誌等を通じて防災情報の広報を実施	○HPや広報誌等を通じて防災情報の広報を実施
平成29年度 実施内容	○管内要配慮者利用施設管理者へ水害・土砂災害対応の説明会を開催 ○平成29年7月28日、水防技術講習会に参加	○管内要配慮者利用施設管理者へ水害・土砂災害対応の説明会を開催 ○平成29年7月28日、水防技術講習会に参加 ○HPや広報誌等を通じて防災情報の広報を継続実施	○管内要配慮者利用施設管理者へ水害・土砂災害対応の説明会を開催 ○平成29年7月28日、水防技術講習会に参加 ○気象に関するコラムや水防月間等を町広報誌掲載により啓発、町HPへ関係機関のページをリンク
平成30年度 実施予定	○引き続き、防災教育の継続実施するなど、水防災意識啓発のための活動を実施	○引き続き、防災教育の継続実施するなど、水防災意識啓発のための活動を実施	○引き続き、防災教育の継続実施するなど、水防災意識啓発のための活動を実施

	消防	道警	自衛隊	J R
平成29年度 実施内容	○平成29年7月28日、水防技術講習会に参加	○各交番、駐在所作成のミニ広報紙により、地域住民全体に広報を実施 ○天塩警察署ホームページで、各町の避難場所掲載ページへのリンクを掲載	—	—
平成30年度 実施予定	○継続実施	○引き続き、小学校において防災講話等を実施 ○引き続き、自治体主催の防災訓練等に参加 ○引き続き、ミニ広報紙や各種イベント時における街頭啓発を実施	—	—



## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: **A** **D** **F** **I**

○天塩町立天塩小学校6年生を対象として天塩川の水害及び防災の講話、簡易担架リレー(家族などが怪我をしたときにどう運ぶか)、目隠しゲーム(火災などで周りが見えない時に自分の感覚がどのくらいか)などを楽しみながら体験できる防災学習を実施した。

#### 平成28年度防災出前授業・防災運動会 概要

目的: 日頃難しく考えがちになる「防災・減災」を楽しみながら学んでもらうという趣旨のもと「地域の防災力の原点である相互信頼・集団協力の大切さ」も同時に学んでいただき、防災活動に対する基礎能力を高めることを目的とする。

実施日: 平成28年9月1日(木)

実施場所: 天塩町立天塩小学校(天塩町新栄通5)

主催: 萌志会(留萌建設協会二世会)

参加機関: 天塩町立天塩小学校、留萌開発建設部、留萌建設業協会

参加人数: 40人

実施内容: 天塩川の水害及び防災についての講話  
防災運動会



#### 実施状況



防災出前授業



簡易担架リレー



目隠しゲーム

## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応:

**A D F I**

～説明会・訓練の実施状況～



2017.5.26 要配慮者利用施設の管理者向け説明会状況



2017.6.8 豊富小学校の避難訓練

～HPを活用した広報活動～

広報とよとみ 12月号

所在地	自然現象の種類	該当地区
天塩郡豊富町字上サロベツ(国道 豊富沢橋別線)および(国道 豊富東通線)沿いの山林	地すべり	源泉地区
天塩郡豊富町字下エベロベツ(「道道 箱内橋延線」沿いの原野)	地すべり	本流地区

豊富町HP 防災情報

天塩町HP 防災情報

ほろのべの窓 1月号

幌延町HP 防災情報

## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: **A** **D** **F** **I**

### 平成29年に実施した取組内容(旭川地方気象台)



#### 教職員を対象とした安全知識の普及啓発

留萌管内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員や、市町村教育委員会職員、PTAの方々40名を対象とした安全推進会議（北海道教育局主催）が平成29年7月11日に羽幌町で開催された。旭川地方気象台は講師として、留萌管内における過去の自然災害の解説や、どんなときに大雨となるか、自らの住んでいるところを知り、生き抜くためにどう行動すべきか、防災気象情報を有効に使うポイントなどを解説し、安全知識の普及啓発を行なった。

#### 期待される効果

教職員への気象災害の理解促進を図ることで、教職員・児童・生徒自らが適切に行動する。



## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: **A** **D** **I**

## 平成29年に実施した取組内容(豊富町)

### 広報誌等による防災情報の提供

- 住民の水防災意識啓発のため、広報の充実を図る
  - ・平成29年4月から広報誌に計9回の防災情報を掲載
  - ・不定期に町内回覧により防災情報を配信



#### ！ 防災情報 土砂災害警戒区域等の指定

このたび、温泉地区および豊富地区において「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき、下記のとおり土砂災害警戒区域等が指定されました。

土砂災害から身を守るため、今回指定された危険箇所を知り、テレビなどで土砂災害警戒情報が発信された場合は、その状況に注意し、危険を感じたらすぐに避難しましょう。

#### 土砂災害警戒区域

所在地	自然現象の種類	該当地区
天塩郡豊富町字上サロベツ(「道道 豊富浜頓別線」および「町道 温泉裏通線」沿いの山林)	地すべり	温泉地区
天塩郡豊富町字下エベコロベツ(「道道 稚内幌延線」沿いの原野)	地すべり	本流地区

#### 土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域

所在地	自然現象の種類	該当地区
天塩郡豊富町字上サロベツ(「道道 豊富浜頓別線」および「町道 温泉裏通線」沿いの山林)	急傾斜地の崩壊	温泉地区

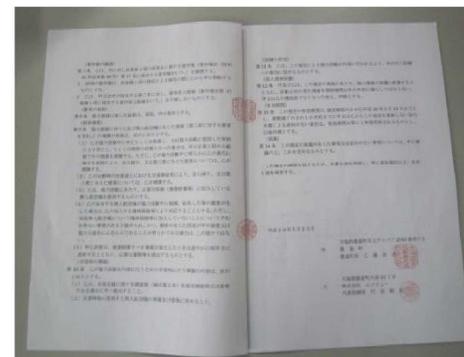
### 防災備蓄品の整備

- 豊富町防災備蓄計画により備蓄品(食糧等)購入



### 民間事業者との防災協定の締結

- 締結者 株式会社 エゾリュウ
- 内容 災害時等における無人航空機による協力に関する協定書



## 6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

### ■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項 平成29年に実施した取組内容(北海道警察)

課題対応:

A

D

I

- 天塩警察署では、同署ホームページ内に「避難場所について」と題したページを掲載し、閲覧者に対して避難場所等の把握に努めるよう広報文を掲示しました。
- また、同ページ内に各町役場(遠別町、天塩町、豊富町、幌延町)ホームページのリンクアドレスを掲載し、閲覧者が各町の避難場所を確認しやすいようにしました。

#### 概要

目的：天塩警察署ホームページ閲覧者の防災意識高揚を図るため。

掲載日：平成29年10月13日(金)

掲載場所：天塩警察署ホームページ「避難場所について」  
(<http://www.teshio-syo.police.pref.hokkaido.lg.jp/kakuka1/keibi/keibi/saigai.html>)

掲載内容：避難場所に関する広報文を掲載各町役場(遠別町、天塩町、豊富町、幌延町)ホームページのリンクアドレスを掲載

#### 掲載状況

ホーム>サイトマップ>避難場所について

#### 避難場所について

大規模災害等が発生した場合、正しい情報を聞き、素早い行動を心がけなければなりません。少しでも早く避難するためにも、皆様がお住まいの地域の指定緊急避難場所等の把握に努めていただき、「万が一」の災害に備えて下さい。下記に、各町のホームページを掲載しますので、お住まいの近くにある避難所等を是非ご確認下さい。

- 遠別町の避難場所等(遠別町のホームページへリンク)(別ウィンドウが開きます)
- 天塩町の避難場所等(天塩町のホームページへリンク)(別ウィンドウが開きます)
- 豊富町の避難場所等(豊富町のホームページへリンク)(別ウィンドウが開きます)
- 幌延町の避難場所等(幌延町のホームページへリンク)(別ウィンドウが開きます)

天塩警察署ホームページ画面

**天塩警察署**

警察相談  
交通情報  
地域情報  
安全情報  
各課窓口

更新日:平成29年5月1日  
交通事故発生状況

4月27日	
人身事故	2件(+1件)
死者	2名(+2名)
負傷者	1名(-1名)

天塩警察署 TESHIO POLICE STATION

原簿を必ず見直し! 求む情報!  
匿名通報ダイヤル  
有力情報には10万円支給

## 6. 概ね5年で実施する取組～長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

### ■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: **L**

○毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施  
【引き続き実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】

課題対応: **J K N**

○関係機関が連携した長時間、広範囲に及ぶ浸水を想定した水防訓練を継続実施  
【引き続き実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○重要水防箇所の見直しを行い、関係機関等に周知している</li> <li>○平成28年8月1日・2日、関係機関と合同で重要水防箇所の点検を実施</li> <li>○平成28年9月13日、災害対策機械操作訓練</li> <li>○平成28年10月17日、水防技術講習会を実施</li> </ul>	—	—
平成29年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○重要水防箇所の見直しを行い、関係機関等に周知を図っている</li> <li>○平成29年8月4日、関係機関と合同で重要水防箇所の点検を実施</li> <li>○平成29年5月12日、天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練を実施</li> <li>○平成29年8月2日、排水ポンプ車等操作訓練の実施</li> <li>○平成29年8月8日、天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修に参加</li> <li>○平成29年7月28日、水防技術講習会を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成29年5月12日、天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練を実施</li> <li>○平成29年8月8日、天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修に参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○重要水防箇所の見直し</li> <li>○平成29年7月28日、水防技術講習会に参加</li> </ul>
平成30年度 実施予定	○継続実施	—	○必要に応じて重要水防箇所の見直しを行っていく

## 6. 概ね5年で実施する取組～長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

### ■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: **L**

○毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施  
【引き続き実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】

課題対応: **J K N**

○関係機関が連携した長時間、広範囲に及ぶ浸水を想定した水防訓練を継続実施  
【引き続き実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】

	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	○平成28年8月1日・2日、関係機関と合同で重要水防箇所の点検 ○平成28年10月17日、水防技術講習会に参加	—	○平成28年8月1日・2日関係機関と合同で重要水防箇所の点検 ○平成28年10月17日、水防技術講習会に参加
平成29年度 実施内容	○平成29年8月4日、関係機関と合同で重要水防箇所の点検を実施 ○平成29年5月12日、天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練に参加 ○平成29年8月8日、天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修に参加 ○平成29年7月28日、水防技術講習会に参加	○平成29年5月12日、天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練に参加 ○平成29年8月8日、天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修に参加 ○平成29年7月28日、水防技術講習会に参加	○平成29年8月4日、関係機関と合同で重要水防箇所の点検を実施 ○平成29年5月12日、天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練に参加 ○平成29年8月8日、天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修に参加 ○平成29年7月28日、水防技術講習会に参加
平成30年度 実施予定	○継続実施	—	○継続実施

	消防	道警	自衛隊	J R
平成29年度 実施内容	○平成29年7月28日、水防技術講習会に参加	○災害危険箇所の見直しを含めた災害警備計画の更新、職員への周知を実施	—	—
平成30年度 実施予定	○継続実施	○引き続き、関係機関と連携し、重要水防危険箇所の周知徹底を図る ○引き続き、自治体主催の防災訓練等に参加	—	—

## 6. 概ね5年で実施する取組～長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

### ■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: **L**

- 天塩町、豊富町、幌延町、北海道、国等からなる「天塩川下流減災対策協議会」で検討された減災に関する取り組み方針に基づき、天塩川下流の重要水防箇所について、天塩町及び幌延町との合同巡視を行いました。
- 重要水防箇所の合同巡視は、関係機関との密接な連携を図るために行う取組の一つで、洪水時に迅速かつ的確な水防活動を行い、流域住民の安全を確保できるよう、出水期前や洪水経過後に合同で実施しています。
- 参加された方から、「長年大きな災害を受けた経験がないため、住民及び職員の防災意識向上が課題となっている」、「水防団(消防団)の高齢化、後継者不足が深刻である」との感想がありました。

#### 平成29年度天塩川下流重要水防箇所合同巡視 概要

目的：関係機関との密接な連携を図り、洪水時に迅速かつ的確な水防活動を行うため、流域住民の安全を確保できるよう合同で実施する。

実施日：平成29年 8月 4日（金）

実施場所：天塩川（問寒別川、雄信内川）

主催：留萌開発建設部

参加機関：天塩町、幌延町

実施内容：①危険箇所について位置等の確認を行う。②水防資材について、備蓄量・保管場所の確認を行う。③関係防災機関同士のコミュニケーションを図る。



#### 平成29年度天塩川下流重要水防箇所合同巡視 実施状況



合同巡視 実施状況

## 6. 概ね5年で実施する取組～長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

### ■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: **J** **K** **N**

- 天塩町、豊富町、幌延町、北海道及び国等からなる「天塩川下流減災対策協議会」で検討された減災に関する取り組み方針に基づき、災害対策用機械の操作訓練を実施しました。
- 「北海道開発局所管施設等の災害応急対策業務に関する協定」における災害対応に関係する地元関連会社が参加し、排水ポンプ車の操作及び取扱について訓練を行いました。
- 参加された方から、「今回の経験を実際の出水時に生かしたい」との感想がありました。

#### 排水ポンプ車等操作訓練 概要

**目的:** 災害発生時に迅速かつ円滑な災害対策用機械の出動・運用を図るため、留萌開発建設部保有の排水ポンプ車、排水ポンプパッケージの操作訓練を行う。

**実施日:** 平成29年8月2日(水)

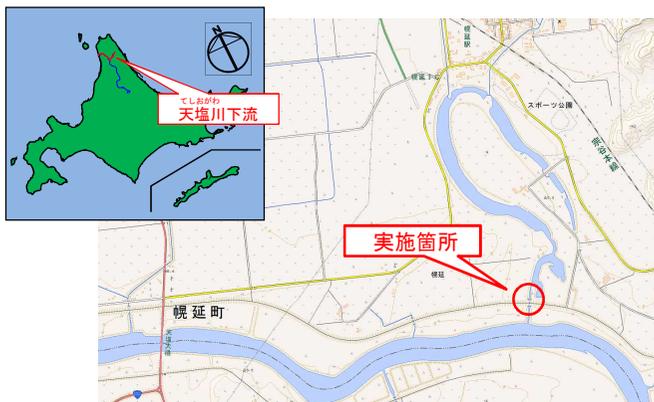
**実施場所:** 天塩郡幌延町  
(幌延2号樋門付近天塩川河川敷)  
(天塩郡幌延町上幌延38地先)

**主催:** 留萌開発建設部

**参加機関:** 留萌開発建設部、稚内開発建設部、留萌建設業協会加入会社、稚内建設業協会加入会社株式会社ほか

**参加人数:** 約55人

**取組内容:** 災害対策用機械の操作訓練



#### 実施状況



訓練状況

## 6. 概ね5年で実施する取組～長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

### ■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: **J** **K** **N**

- 天塩町、豊富町、幌延町、北海道、国等からなる「天塩川下流減災対策協議会」で検討された減災に関する取り組み方針に基づき、水防技術講習会を実施。
- 防災関係機関職員、水防活動に従事する消防署職員及び工事受注者等と、縄の結び方や積み土のう工等の水防技術講習及び水のうや排水ポンプパッケージの水防資機材の説明・実演を行いました。
- 合わせて水質事故に備えた対策訓練を実施し、管理体制及び防災体制の強化に努めています。

#### 平成29年度天塩川下流水防技術講習会 概要

目的：出水時における水防活動及び水質事故対応が円滑に実施されるよう、水防技術の向上と伝承を図る講習会及び水質事故対応の技術向上を目的とした水質事故対策資材の設置訓練を実施する。

実施日：平成29年7月28日（金）

実施場所：幌延水防倉庫ヘリポート

主催：留萌開発建設部幌延河川事務所

参加機関：天塩町、豊富町、幌延町、関係機関（消防組合等）、工事受注者

参加人数：50人

実施内容：水防工法講習

縄の結び方、土のうの作り方、積み土のう工排水ポンプパッケージや水のうの説明・実演



#### 実施状況



縄の結び方



積み土のう工



水のうの実演

## 6. 概ね5年で実施する取組～長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

### ■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: M

○迅速な水防活動を支援するため、長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害の状況を踏まえ、水防資機材が不足する地域に新たな保管場所を検討の上、充実を図る 【引き続き実施:留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、自衛隊】

○的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ水防団員数の確保を図る  
【平成28年度から実施:天塩町、豊富町、幌延町、消防】  
○自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認 【引き続き実施:北海道、天塩町、豊富町、幌延町、自衛隊】

課題対応: N

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有。 ○天塩川下流減災部会において陸上自衛隊留萌・名寄駐屯地との情報共有を図っている。	—	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有。 ○天塩川下流減災部会において陸上自衛隊留萌・名寄駐屯地との情報共有を図っている。 ○平成28年11月28日、開催留萌防災行政ネットワーク会議にて自衛隊災害派遣要請について議題とし説明
平成29年度 実施内容	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有		○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有 ○自衛隊等との情報を共有するとともに、災害派遣要請に係る調整方法の確認を支援
平成30年度 実施予定	○継続実施	—	○継続実施

## 6. 概ね5年で実施する取組～長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

### ■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: **M**

○迅速な水防活動を支援するため、長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害の状況を踏まえ、水防資機材が不足する地域に新たな保管場所を検討の上、充実を図る 【引き続き実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、自衛隊】

課題対応: **N**

○的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ水防団員数の確保を図る  
【平成28年度から実施: 天塩町、豊富町、幌延町、消防】  
○自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認 【引き続き実施: 北海道、天塩町、豊富町、幌延町、自衛隊】

	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有 ○募集を継続 ○天塩川下流減災部会において陸上自衛隊留萌・名寄駐屯地との情報共有を図っている。	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有 ○募集を継続 ○天塩川下流減災部会において陸上自衛隊留萌・名寄駐屯地との情報共有を図っている。	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有 ○募集を継続 ○天塩川下流減災部会において陸上自衛隊留萌・名寄駐屯地との情報共有を図っている。
平成29年度 実施内容	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有 ○従来とおり実施 ○平成29年度見直しの地域防災計画で検討及び確認	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有 ○庁舎内や公共施設へリーフレット・ポスターの掲示を実施 ○自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について書面により確認を実施	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有 ○水防団員（消防団員）確保に向けた協力 ○北海道（宗谷総合振興局）と自衛隊要請に必要な手続、様式等について確認を実施 ○自衛隊との連携強化のため、防災マップにUTMグリッドの表示
平成30年度 実施予定	○継続実施	○継続実施	○継続実施

	消防	道警	自衛隊	J R
平成28年度 実施内容	—	—	—	—
平成29年度 実施内容	—	—	○災害派遣資機材等の充実	—
平成30年度 実施予定	—	—	○災害派遣資機材等の充実について継続実施	—

## 6. 概ね5年で実施する取組～長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

### ■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: **M**

#### 水防資機材の保有状況の共有

国土交通省 北海道開発局 防災情報共有システム

緊急情報  
地震情報なし  
津波情報なし

絞り込み検索 ヘルプ 検索

凡例  
【防災資機材】  
● 開発局  
◆ 道・自治体  
■ 民間

リンク  
防災イントラネット初期メニュー  
資機材検索システムダウンロード  
石狩川下流域防災情報メニュー

MYページ 総合地図 カメラ情報 道路情報 河川情報 タム情報 気象情報 地震情報 津波情報 火山情報 防災情報

災害対策本部 避難勧告指示 避難所情報 防災資機材(地図) 防災資機材(一覧)

防災資機材(地図) 地域: 留萌地区 市町村: 留萌市 表示



北海道

災害対策本部 避難勧告指示 避難所情報 防災資機材(地図) 防災資機材(一覧)

防災資機材(一覧) 操作手順

地域: 留萌 市町村: 留萌市  
機関: 留萌開発建設部 留萌開発事務所

用途: 水防活動 区分: --  
分類: -- 種別: -- 更新 貸与手続 CSV作成 全道一括CSV

チェック	分類	種別	規格	単位	数量	備考
<input type="checkbox"/>	シート類	ブルーシート	#3000 3.6x5.4m	枚	100	東豊水防所
<input type="checkbox"/>	シート類	ブルーシート	3.6m x 5.4m	枚	100	
<input type="checkbox"/>	シート類	防水シート	3.6m x 5.4m	枚	80	
<input type="checkbox"/>	ボート類	エアボート		艇	1	
<input type="checkbox"/>	ポンプ機材	水中ポンプ	吐出量180L/min	台	3	
<input type="checkbox"/>	土木用資材	アンカーピン	φ16mm x 120cm	本	5	
<input type="checkbox"/>	土木用資材	アンカーピン	鉄ピンφ100H1250	本	531	
<input type="checkbox"/>	土木用資材	アンカーピン	鉄ピンφ75H1450	本	163	
<input type="checkbox"/>	土木用資材	アンカーピン	鉄ピンφ25H1450	本	200	
<input type="checkbox"/>	土木用資材	吸水性土のう	海水給水型	枚	500	
<input type="checkbox"/>	土木用資材		480mm x 620mm ポリプロピ			

災害対策本部 避難勧告指示 避難所情報 防災資機材(地図) 防災資機材(一覧)

防災資機材(一覧) 操作手順

地域: 留萌 市町村: 幌延町  
機関: 留萌開発建設部 幌延河川事業所

用途: -- 区分: --  
分類: -- 種別: -- 更新 貸与手続 CSV作成 全道一括CSV

チェック	分類	種別	規格	単位	数量	備考
<input type="checkbox"/>	ごはん・米類	アルファ米	味付きごはん 100g	食	89	
<input type="checkbox"/>	ごはん・米類	レトルトパック	ワンクイックライス	食	77	
<input type="checkbox"/>	スープ・汁物	汁缶	みそ汁	食	58	みそ汁160g
<input type="checkbox"/>	スープ・汁物	汁缶	スープ缶	食	20	
<input type="checkbox"/>	スープ・汁物	汁缶	フルーツ缶	食	20	
<input type="checkbox"/>	パン類	パンの缶詰	100g/個	食	86	
<input type="checkbox"/>	ポンプ機材	排水ポンプパッケージ	10m3/min	セット	1	
<input type="checkbox"/>	保安用品	ロープ	100m	巻	1	
<input type="checkbox"/>	土木用資材	アンカーピン	麻袋用 φ16mm L=120cm ~160cm	本	845	
<input type="checkbox"/>	土木用資材	土のう袋		枚	450	

## 6. 概ね5年で実施する取組～長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

### ■ 拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項

課題対応: **D** **E**

○浸水想定区域内の拠点施設(病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進  
【引き続き実施:天塩町、豊富町、幌延町】

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	—	—	—
平成29年度 実施内容	—	—	—
平成30年度 実施予定	—	—	—

	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	—	○拠点施設等へハザードマップ等により情報共有を実施	—
平成29年度 実施内容	—	○各拠点施設における水害リスクの情報収集等を実施	○浸水想定区域内の防災拠点（消防分遣所）に止水板の導入
平成30年度 実施予定	○今後検討	○継続実施	—

	消防	道警	自衛隊	J R
平成28年度 実施内容	—	—	—	—
平成29年度 実施内容	—	—	—	—
平成30年度 実施予定	—	—	—	—

## 6. 概ね5年で実施する取組～長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

### ■ 氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

課題対応: **G O P**

- 想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成  
【平成28年度から実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊】
- 訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認  
【引き続き実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、自衛隊】

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成28年9月13日、災害対策機械操作訓練実施</li> <li>○平成29年2月、排水ポンプ車を幌延河川事務所へ配備</li> <li>○平成28年4月25日、水防連絡協議会及び災害対策機械の出動要請に必用な事項を説明</li> <li>○平成29年10月17日、水防技術講習会を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水防連絡協議会に参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水防連絡協議会に参加</li> </ul>
平成29年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○想定最大規模の洪水に対する排水計画案について検討</li> <li>○平成29年4月26日、水防連絡協議会において災害対策機械の出動要請に必要な事項を説明</li> <li>○平成29年7月28日、水防技術講習会を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○継続実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成29年7月28日、水防技術講習会に参加</li> <li>○継続実施</li> </ul>
平成30年度 実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○継続実施</li> <li>○水防連絡協議会及び災害対策機械訓練において災害対策機械の出動要請に必要な事項を説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○継続実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○継続実施</li> <li>○排水訓練の参加、水防連絡協議会等を活用して体制を確認</li> </ul>

## 6. 概ね5年で実施する取組～長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

### ■ 氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

課題対応: **G O P**

- 大規模氾濫減災協議会の取り組み方針並びに緊急行動計画に基づき、「平成32年度までに、長期にわたり浸水が継続する地域などにおいて、排水計画を作成」するものとする。なお、ここで言うところの『排水計画』は、排水作業の準備にかかる計画であり、今後、『排水作業準備計画』と呼称するものとする。
- 『排水作業準備計画』は、実際の洪水時に、氾濫状況に応じて、排水作業の進め方を検討・決定する上で必要な基礎資料を事前に準備し整理しておくもの。国土交通大臣が行う特定緊急水防活動のための基礎資料ともなるもの。
- 原則、想定最大規模降雨で検討を行うこととするが、状況に応じて、まず計画規模降雨等で検討することも可とする。
- 『排水作業準備計画』は協議会等の場を通じて関係者間で共有するとともに、本資料により訓練を実施する。

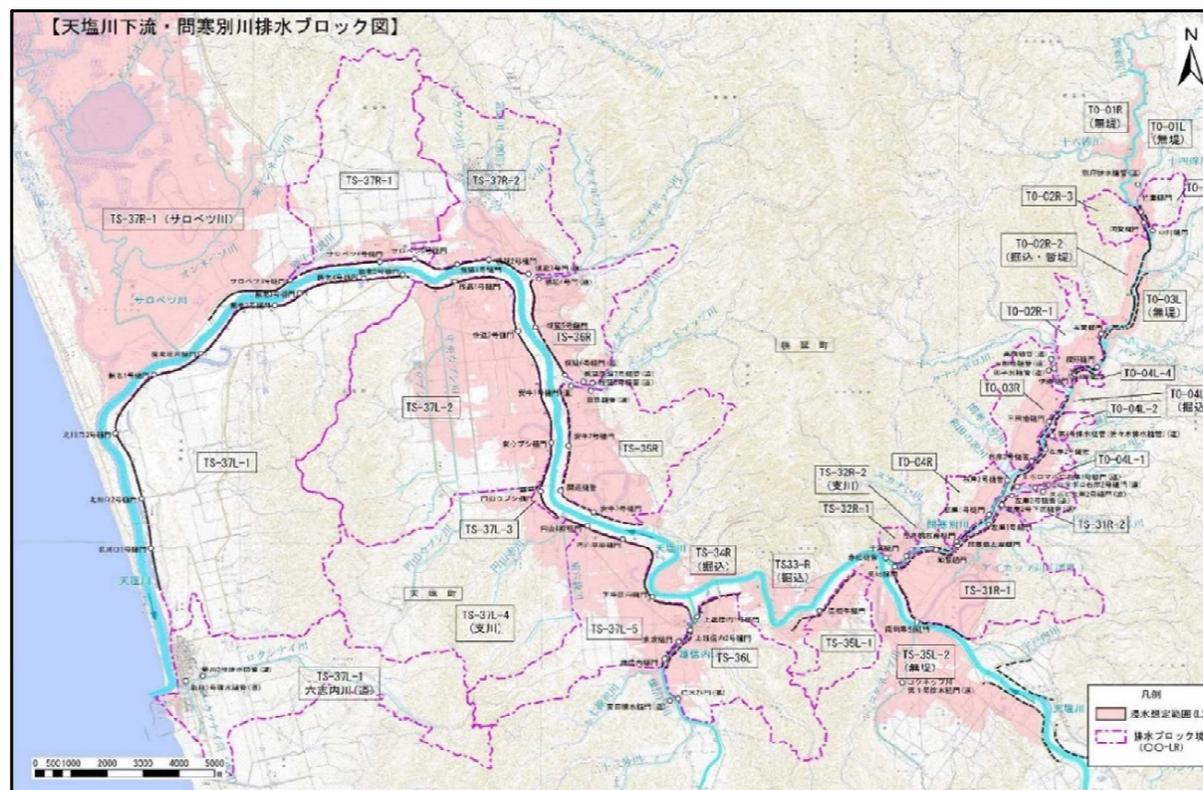
#### 天塩川下流 排水作業準備計画 ハンドブック(案)

【全体編】



平成 30 年 3 月

留萌開発建設部



## 6. 概ね5年で実施する取組～長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

### ■ 氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

課題対応: **G O P**

○想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成  
【平成28年度から実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊】

○訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認  
【引き続き実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、自衛隊】

	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	○平成28年10月17日、水防技術講習会に参加 ○水防連絡協議会に参加	○水防連絡協議会に参加	○平成28年10月17日、水防技術講習会に参加 ○水防連絡協議会に参加
平成29年度 実施内容	○平成29年7月28日、水防技術講習会に参加 ○継続実施	○平成29年7月28日、水防技術講習会に参加 ○継続実施	○平成29年7月28日、水防技術講習会に参加 ○継続実施
平成30年度 実施予定	○継続実施 ○排水訓練の参加、水防連絡協議会等を活用して体制を確認	○継続実施 ○排水訓練の参加、水防連絡協議会等を活用して体制を確認	○継続実施 ○排水訓練の参加、水防連絡協議会等を活用して体制を確認

	消防	道警	自衛隊	J R
平成29年度 実施内容	○平成29年7月28日、水防技術講習会に参加	○随時、担当者が各関係機関防災担当者を訪問するなどして情報共有を行い、連絡体制を維持している	—	—
平成30年度 実施予定	○継続実施	○引き続き、市町村防災担当者との情報共有や連絡体制の確立を図る	—	—



# 減災対策協議会(道管理区間含む)今後の進め方

## 平成29年7月(出水期前) 減災対策協議会設置

- ・ 既存の減災部会を法定協議会化。新たな構成員を追加(自衛隊、警察、消防、JR)
- ・ 道管理区間に関する現状のリスク情報、取組状況の共有
- ・ 取組方針(国管理区間)フォローアップ
- ・ 今後のスケジュールの確認

規約の承認  
協議会の設置

## 適宜 減災対策協議会 幹事会

- ・ 出水時の課題について共有
- ・ 新規構成員による取組項目等整理
- ・ 国管理区間+道管理区間を対象として、概ね5年以内で実施する取組方針の見直し

## 平成30年6月 減災対策協議会

- ・ 取組方針(国管理区間+道管理区間)の見直し
- ・ H29年度取組内容(国管理区間+道管理区間)のフォローアップ

取組方針の承認

- ・ 以降、出水期前に毎年協議会を開催し、フォローアップを実施
- ・ 取組方針についても必要に応じて見直し